

Ⅱ 調査結果

Ⅱ-1 市民協働参画意識調査

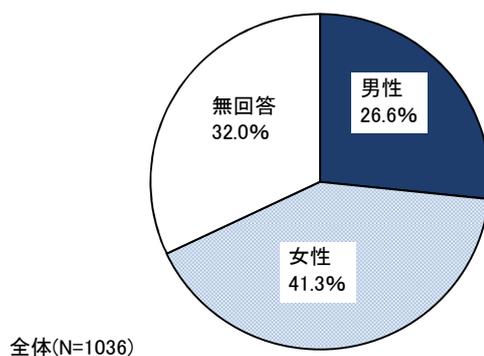
1. 回答者の属性

(1) 性別

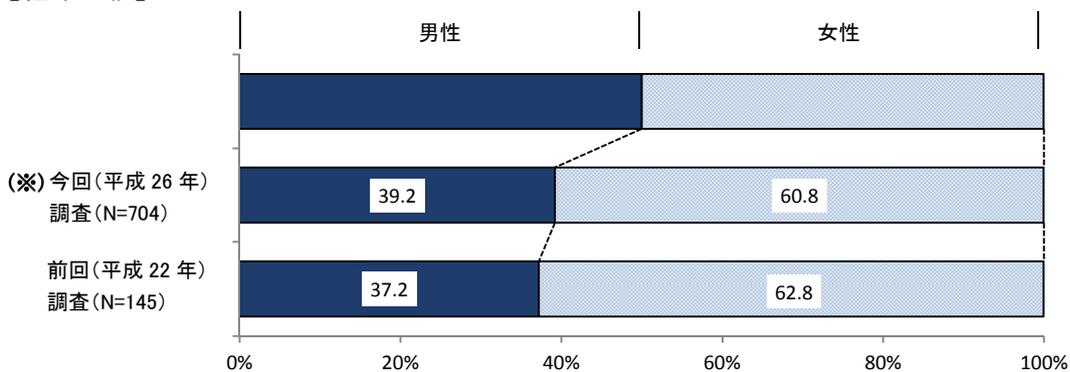
性別について、「女性」が41.3%、「無回答」が32.0%、「男性」が26.6%で、男性に比べて、女性がやや上回っている。

【経年比較】

『今回調査』は『前回調査』に比べて、「女性」が2.0ポイント減少している。



【経年比較】



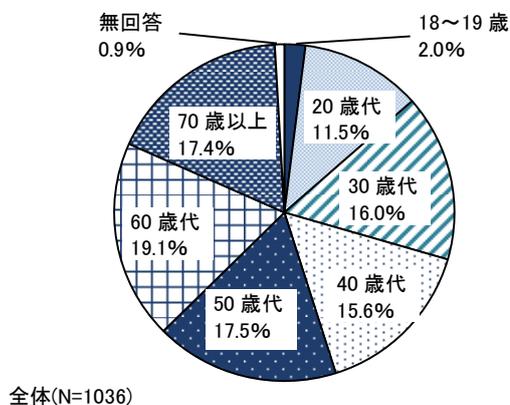
(※)今回調査は無回答を含まない。

(2) 年齢 (平成 26 年 11 月 1 日現在)

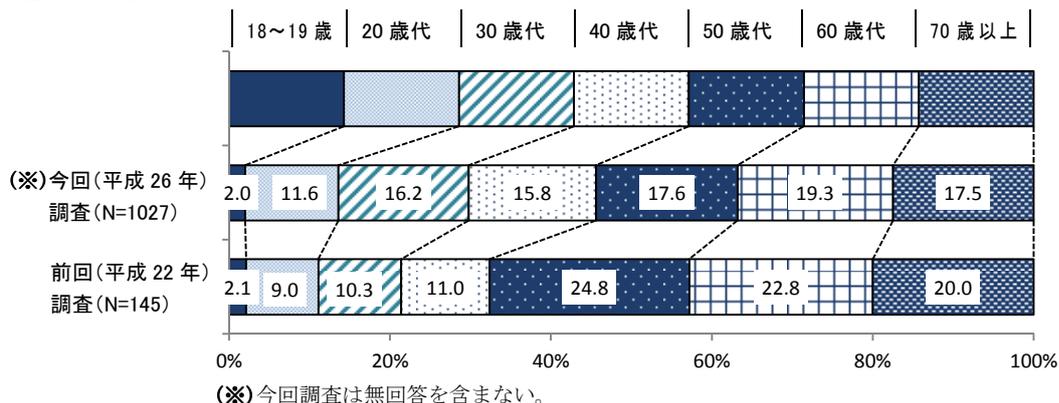
年齢について、「60 歳代」が 19.1%と最も高い。ついで、「50 歳代」(17.5%)、「70 歳以上」(17.4%)となっている。

【経年比較】

『今回調査』は『前回調査』に比べて、「50 歳代」が 7.2 ポイント減少している。

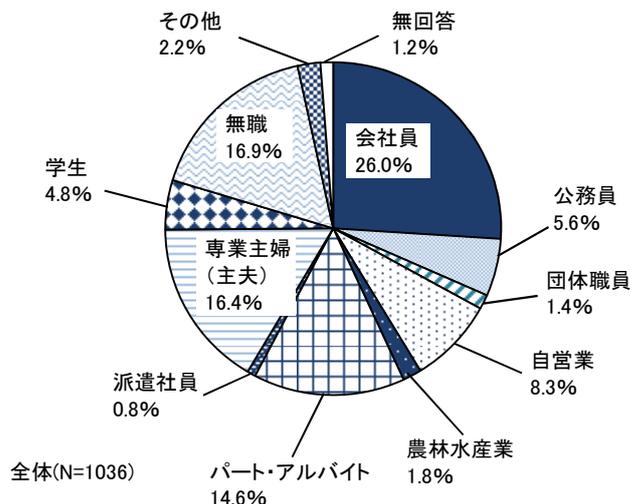


【経年比較】



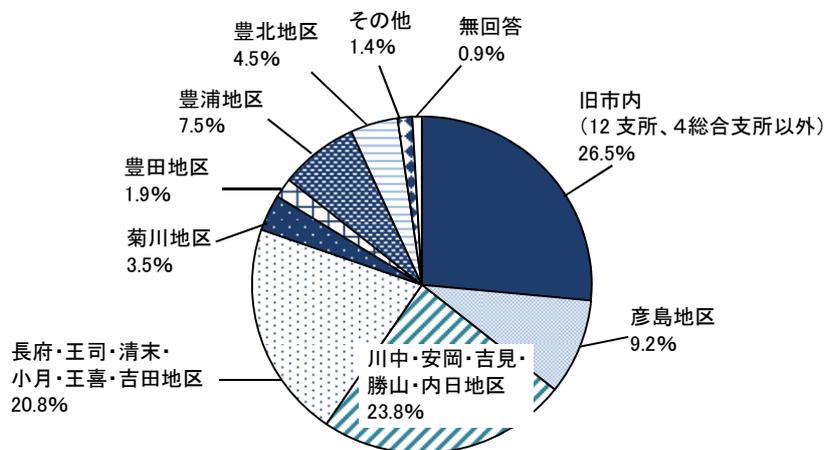
(3) 職業

職業について、「会社員」が 26.0%と最も高い。ついで、「無職」(16.9%)、「専業主婦(主夫)」(16.4%)となっている。



(4) 居住地区

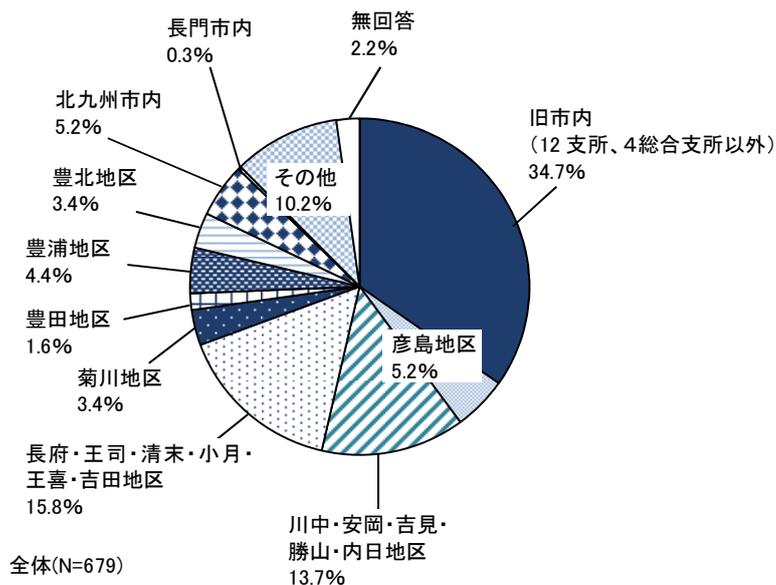
居住地区について、「旧市内(12支所、4総合支所以外)」が26.5%と最も高い。ついで、「川中・安岡・吉見・勝山・内日地区」(23.8%)、「長府・王司・清末・小月・王喜・吉田地区」(20.8%)となっている。



全体(N=1036)

(5) 通勤先・通学先

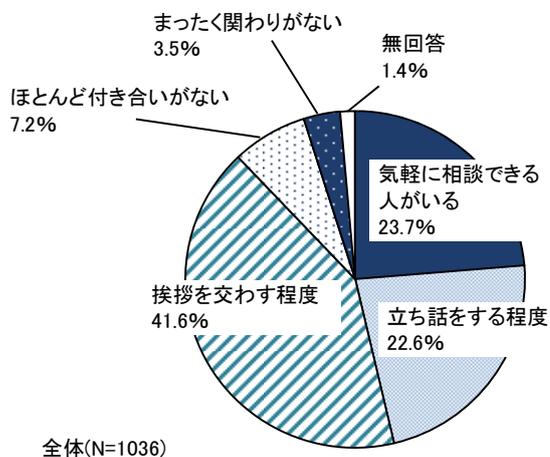
通勤先・通学先について、「旧市内(12支所、4総合支所以外)」が34.7%と最も高い。ついで、「長府・王司・清末・小月・王喜・吉田地区」(15.8%)、「川中・安岡・吉見・勝山・内日地区」(13.7%)となっている。



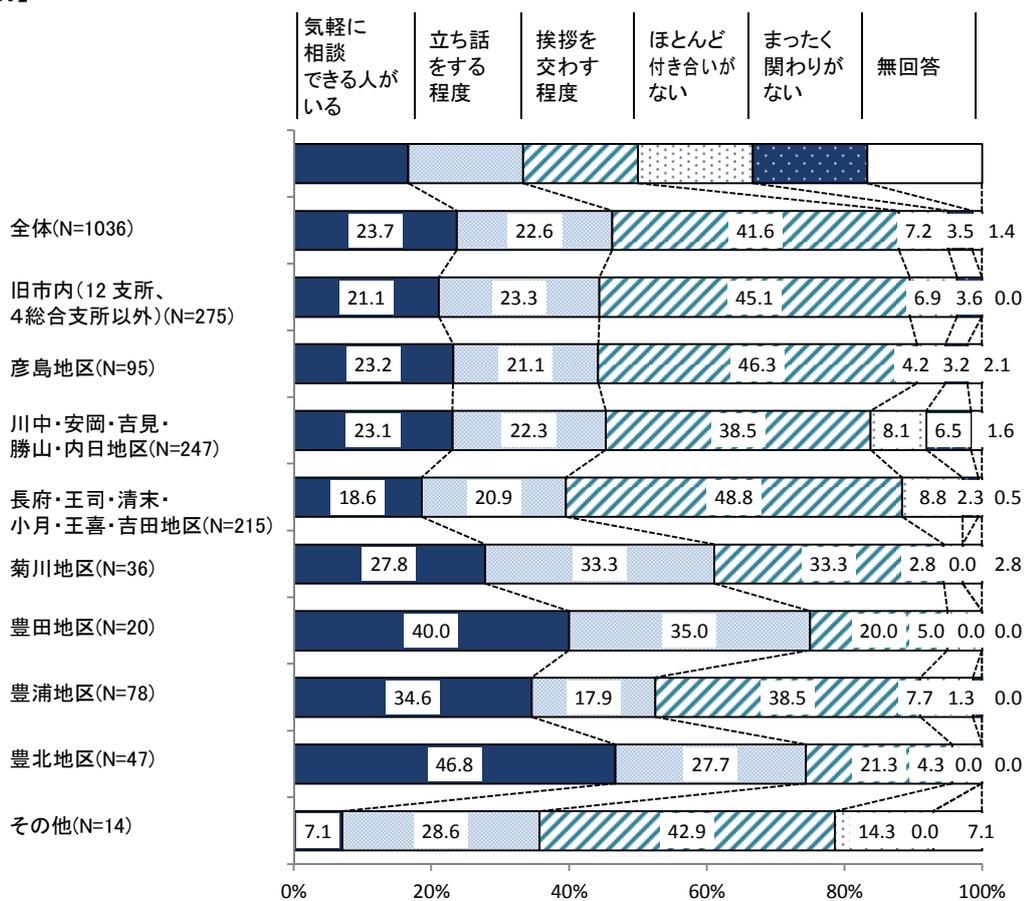
全体(N=679)

(6) 近所付き合い

近所付き合いについて、「挨拶を交わす程度」が 41.6%と最も高い。ついで、「気軽に相談できる人がいる」(23.7%)、「立ち話をする程度」(22.6%)となっている。

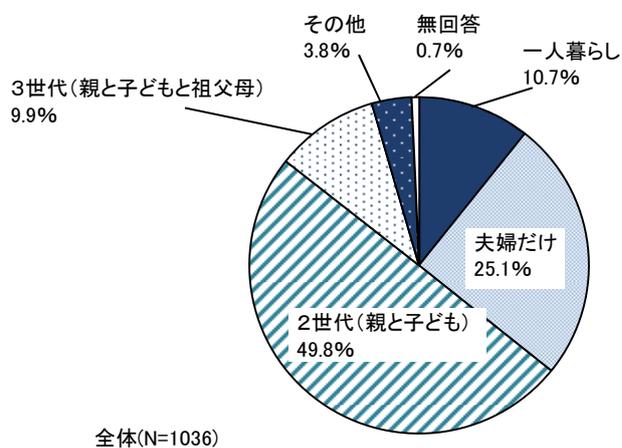


【居住地区別】



(7) 家族構成

家族構成について、「2世代(親と子ども)」が49.8%と最も高い。ついで、「夫婦だけ」(25.1%)、「一人暮らし」(10.7%)となっている。



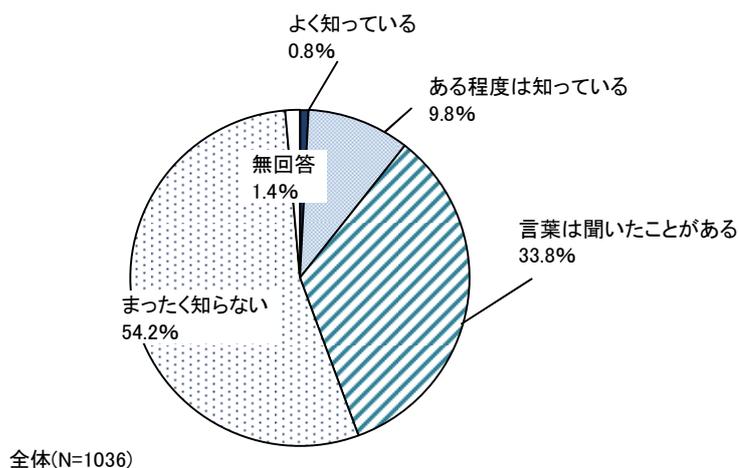
2. 市民協働参画について

(1) 「市民協働参画（パートナーシップ）」の認知度

(問2) あなたは、「市民協働参画（パートナーシップ）」について知っていましたか。

【あてはまるもの1つに○】

「市民協働参画（パートナーシップ）」の認知度について、「まったく知らない」が54.2%と最も高い。ついで、「言葉は聞いたことがある」(33.8%)、「ある程度は知っている」(9.8%)となっている。



「市民協働参画（パートナーシップ）」の認知度と市民の特徴との関連性

(P8 図1・2 参照)

「市民協働参画（パートナーシップ）」の認知度と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「まったく知らない」が最も高い。

【年齢別】

年齢にかかわらず、「まったく知らない」が最も高い。

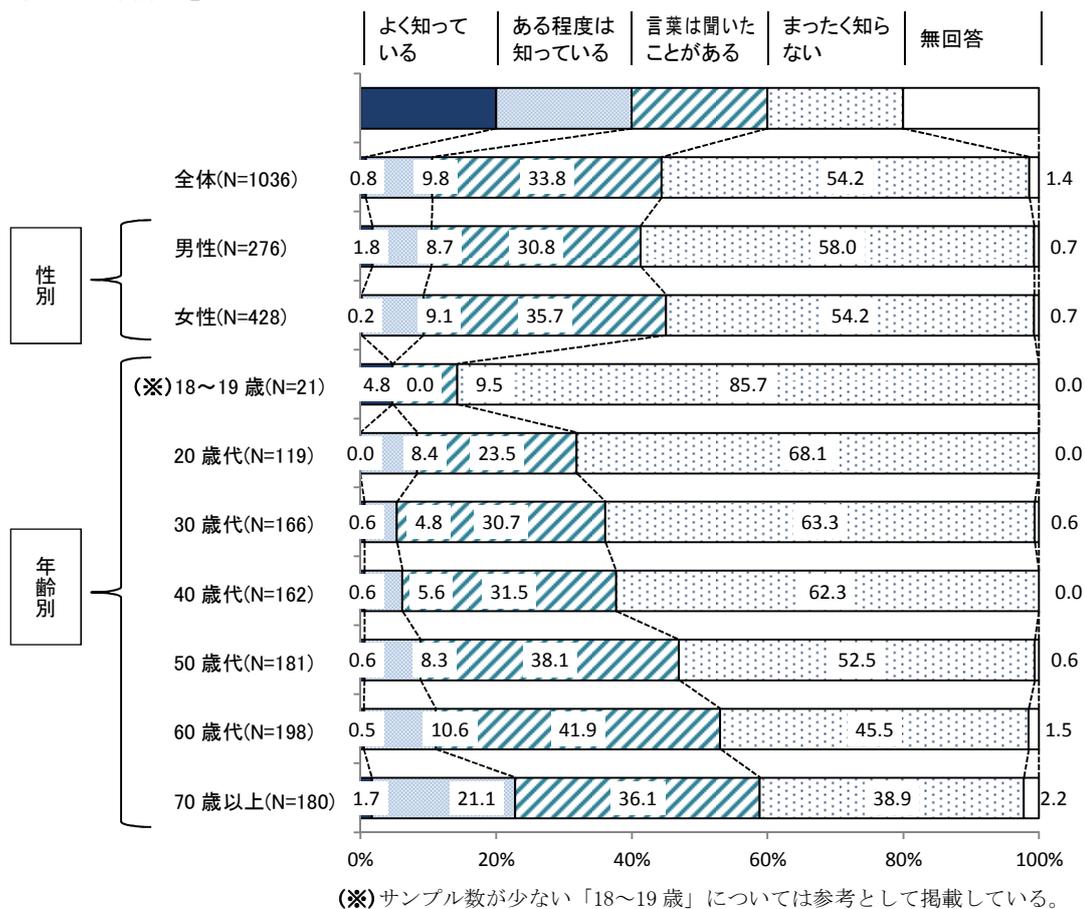
また、年齢が低くなるほど「まったく知らない」が高い。

【近所付き合い別】

近所付き合いにかかわらず、「まったく知らない」が最も高い。

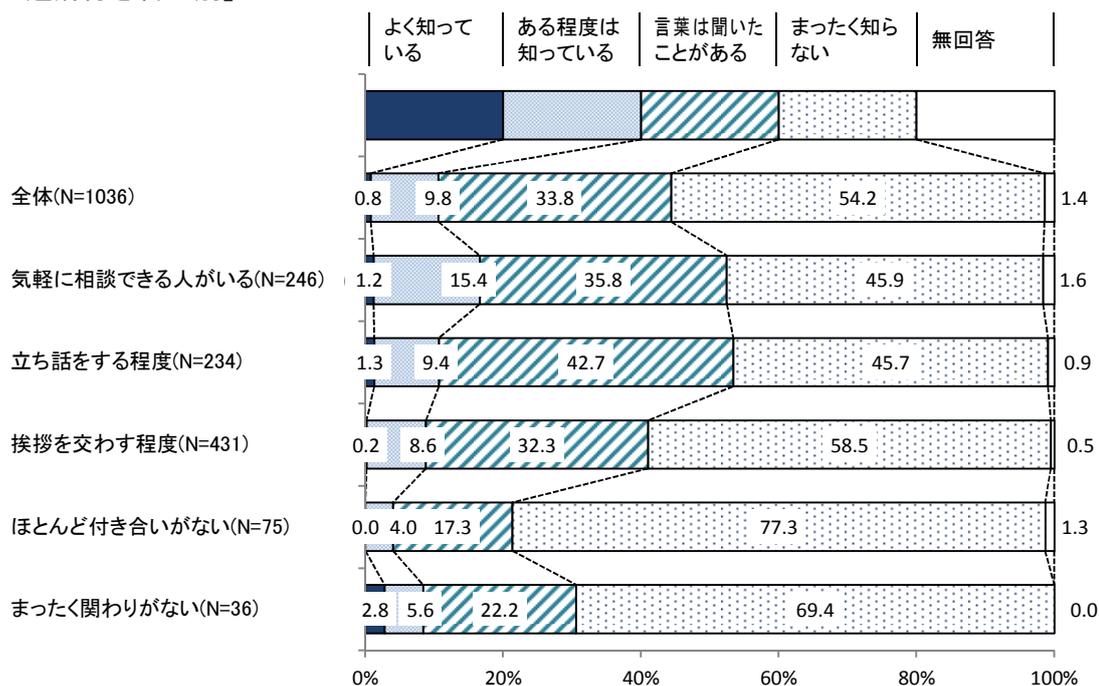
「市民協働参画（パートナーシップ）」の認知度と性別・年齢との関連性（図1）

【図1 性別・年齢別】



「市民協働参画（パートナーシップ）」の認知度と近所付き合いとの関連性（図2）

【図2 近所付き合い別】

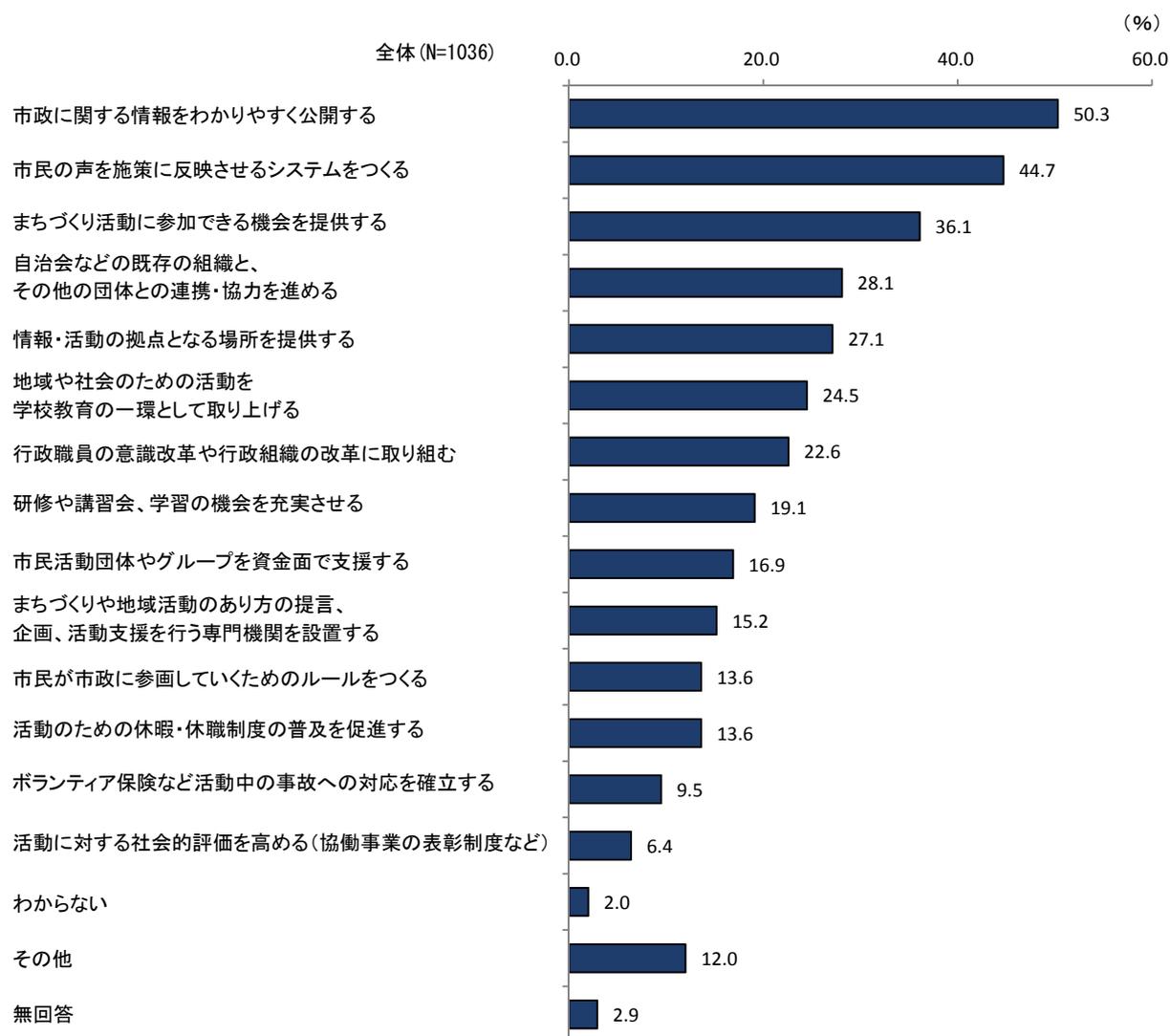


(2) 市民協働参画の推進のために必要な施策

(問3) あなたは、市民協働参画の推進のために必要な下関市の施策は何だと思えますか。

【あてはまるもの5つまでに○】

市民協働参画の推進のために必要な施策について、「市政に関する情報をわかりやすく公開する」が50.3%と最も高い。ついで、「市民の声を施策に反映させるシステムをつくる」(44.7%)、「まちづくり活動に参加できる機会を提供する」(36.1%)となっている。



市民協働参画の推進のために必要な施策と市民の特徴との関連性 (P11 表1 参照)

市民協働参画の推進のために必要な施策と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

『男性』は「市民の声を施策に反映させるシステムをつくる」(48.9%)、ついで「市政に関する情報をわかりやすく公開する」(48.2%)が、『女性』は「市政に関する情報をわかりやすく公開する」(50.9%)が最も高い。

【年齢別】

年齢が上がるにつれて、「自治会などの既存の組織と、その他の団体との連携・協力を進める」が高くなっている。

【市民の市政参画への認識(重要度)別】

市民の市政参画への認識(重要度)で見ると、市政への参画が、『重要と認識』、『どちらともいえない』、『重要でないと認識』と回答した市民ともに「市政に関する情報をわかりやすく公開する」が最も高い。

市民協働参画の推進のために必要な施策と性別・年齢・市民の市政参画への認識（重要度）との関連性（表1）

【表1 性別・年齢・市民の市政参画への認識（重要度）別】

	全体	市政に関する情報をわかりやすく公開する	市民の声を施策に反映させるシステムをつくる	まちづくり活動に参加できる機会を提供する	自治会などの既存の組織と、その他の団体との連携・協力を進める	情報・活動の拠点となる場所を提供する	地域や社会のための活動を学校教育の一環として取り上げる	行政職員の意識改革や行政組織の改革に取り組む	研修や講習会、学習の機会を充実させる	
全体	1036 100.0%	521 50.3%	463 44.7%	374 36.1%	291 28.1%	281 27.1%	254 24.5%	234 22.6%	198 19.1%	
性別	男性	276 100.0%	133 48.2%	135 48.9%	109 39.5%	70 25.4%	69 25.0%	66 23.9%	76 27.5%	48 17.4%
	女性	428 100.0%	218 50.9%	184 43.0%	142 33.2%	115 26.9%	124 29.0%	115 26.9%	87 20.3%	89 20.8%
年齢別	18～19歳（※ ¹ ）	21 100.0%	8 38.1%	6 28.6%	10 47.6%	2 9.5%	2 9.5%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%
	20歳代	119 100.0%	55 46.2%	45 37.8%	34 28.6%	18 15.1%	29 24.4%	38 31.9%	17 14.3%	23 19.3%
	30歳代	166 100.0%	80 48.2%	76 45.8%	61 36.7%	42 25.3%	39 23.5%	52 31.3%	34 20.5%	32 19.3%
	40歳代	162 100.0%	82 50.6%	86 53.1%	58 35.8%	46 28.4%	54 33.3%	48 29.6%	39 24.1%	23 14.2%
	50歳代	181 100.0%	91 50.3%	84 46.4%	75 41.4%	52 28.7%	52 28.7%	40 22.1%	43 23.8%	33 18.2%
	60歳代	198 100.0%	104 52.5%	85 42.9%	76 38.4%	57 28.8%	65 32.8%	39 19.7%	59 29.8%	47 23.7%
	70歳以上	180 100.0%	99 55.0%	78 43.3%	60 33.3%	73 40.6%	40 22.2%	33 18.3%	41 22.8%	38 21.1%
	市民の市政参画への認識（重要度）別（※ ² ）	重要と認識	640 100.0%	348 54.4%	314 49.1%	266 41.6%	203 31.7%	205 32.0%	182 28.4%	172 26.9%
どちらともいえない		336 100.0%	149 44.3%	129 38.4%	92 27.4%	76 22.6%	70 20.8%	68 20.2%	56 16.7%	53 15.8%
重要でない認識		38 100.0%	17 44.7%	14 36.8%	13 34.2%	9 23.7%	5 13.2%	3 7.9%	6 15.8%	4 10.5%
	市民活動団体やグループを資金面で支援する	まちづくりや地域活動のあり方の提言、企画、活動支援を行う 専門機関を設置する	市民が市政に参画していくためのルールをつくる	活動のための休暇・休職制度の普及を促進する	ボランティア保険など活動中の事故への対応を確立する	活動に対する社会的評価を高める（協働事業の表彰制度など）	わからない	その他	無回答	
全体	175 16.9%	157 15.2%	141 13.6%	141 13.6%	98 9.5%	66 6.4%	124 12.0%	21 2.0%	30 2.9%	
性別	男性	46 16.7%	43 15.6%	46 16.7%	51 18.5%	23 8.3%	22 8.0%	30 10.9%	14 5.1%	2 0.7%
	女性	84 19.6%	67 15.7%	45 10.5%	60 14.0%	42 9.8%	24 5.6%	51 11.9%	4 0.9%	10 2.3%
年齢別	18～19歳（※ ¹ ）	4 19.0%	4 19.0%	1 4.8%	4 19.0%	2 9.5%	4 19.0%	4 19.0%	1 4.8%	2 9.5%
	20歳代	17 14.3%	19 16.0%	17 14.3%	34 28.6%	3 2.5%	11 9.2%	14 11.8%	3 2.5%	1 0.8%
	30歳代	23 13.9%	28 16.9%	18 10.8%	30 18.1%	8 4.8%	10 6.0%	23 13.9%	6 3.6%	3 1.8%
	40歳代	33 20.4%	25 15.4%	17 10.5%	26 16.0%	13 8.0%	11 6.8%	10 6.2%	4 2.5%	1 0.6%
	50歳代	35 19.3%	24 13.3%	19 10.5%	25 13.8%	25 13.8%	9 5.0%	28 15.5%	1 0.6%	3 1.7%
	60歳代	35 17.7%	28 14.1%	39 19.7%	14 7.1%	24 12.1%	12 6.1%	21 10.6%	3 1.5%	8 4.0%
	70歳以上	27 15.0%	29 16.1%	30 16.7%	8 4.4%	23 12.8%	9 5.0%	24 13.3%	2 1.1%	7 3.9%
市民の市政参画への認識（重要度）別（※ ² ）	重要と認識	132 20.6%	114 17.8%	96 15.0%	95 14.8%	72 11.3%	38 5.9%	33 5.2%	17 2.7%	12 1.9%
	どちらともいえない	36 10.7%	39 11.6%	40 11.9%	39 11.6%	21 6.3%	24 7.1%	77 22.9%	2 0.6%	12 3.6%
	重要でない認識	5 13.2%	4 10.5%	3 7.9%	7 18.4%	2 5.3%	4 10.5%	7 18.4%	2 5.3%	1 2.6%

（※¹）サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

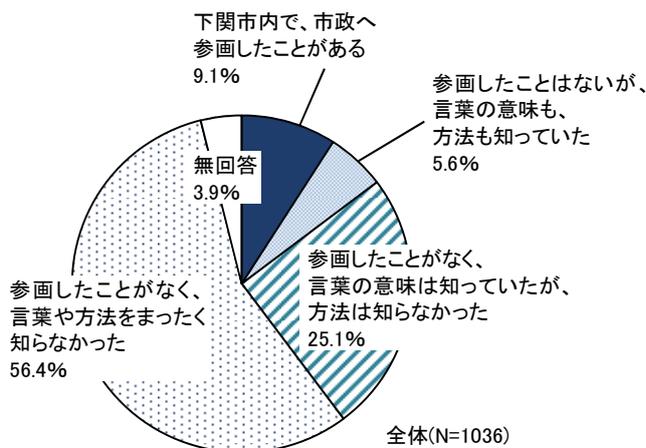
（※²）「市民の市政参画への認識（重要度）別」の回答結果及び分類は、問5（16ページ）に記載している。

3. 下関市における参画について

(1) 「参画」の経験・認知度

(問4) あなたは、下関市内で市政へ「※参画」したことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

「参画」の経験・認知度について、「参画したことがなく、言葉や方法をまったく知らなかった」が 56.4%と最も高い。ついで、「参画したことがなく、言葉の意味は知っていたが、方法は知らなかった」(25.1%)、「下関市内で、市政へ参画したことがある」(9.1%)となっている。



(※)「参画」とは、下関市の施策をよりよいものとするために、下関市が行う施策や事業、下関市の「計画」「立案」「実施」「評価」の各段階において、市民の皆様が自主的かつ主体的に参加することをいう。

市民の市政への参画方法

- 説明会への参加
- アンケート調査への回答
- ワークショップへの参加
- 審議会委員への応募
- パブリックコメント(意見の提出)
- 市長へのはがき・Eメール等

「参画」の経験・認知度と市民の特徴との関連性 (P13 図3 参照)

「参画」の経験・認知度と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「参画したことがなく、言葉や方法をまったく知らなかった」が最も高い。

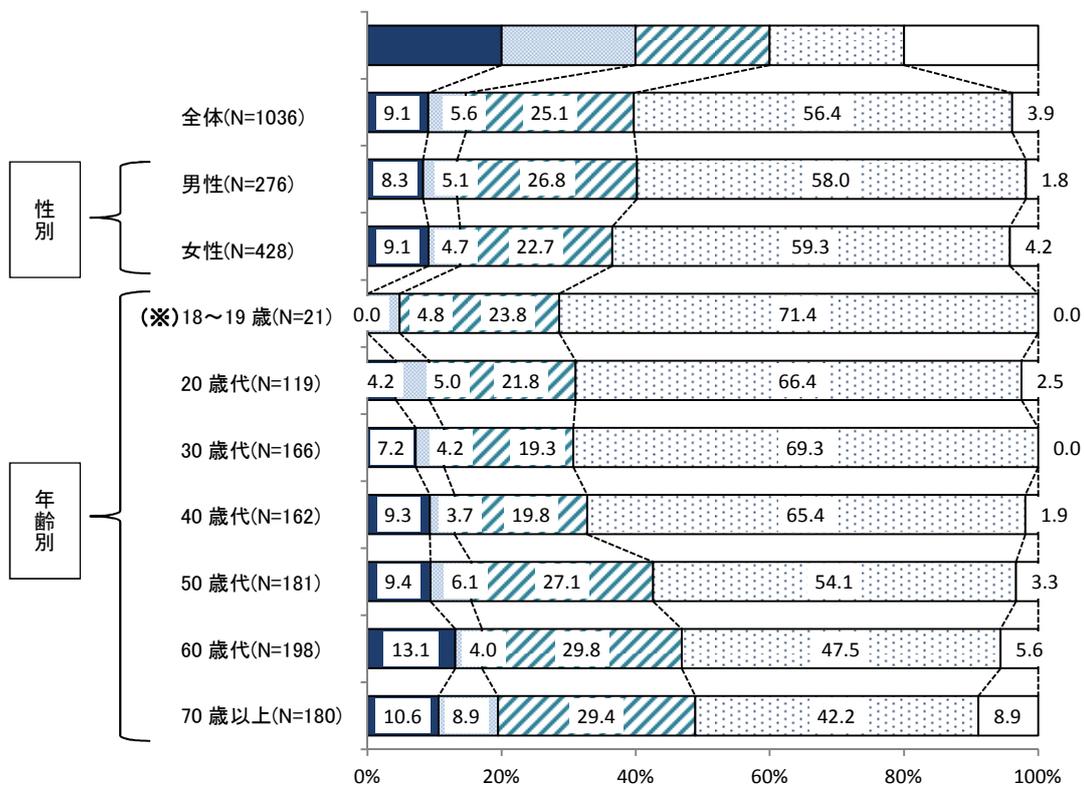
【年齢別】

年齢にかかわらず、「参画したことがなく、言葉や方法をまったく知らなかった」が最も高い。

また、『30 歳代』から年齢が上がるにつれて、「参画したことがなく、言葉や方法をまったく知らなかった」は低くなっている。

「参画」の経験・認知度と性別・年齢との関連性 (図3)

【図3 性別・年齢別】



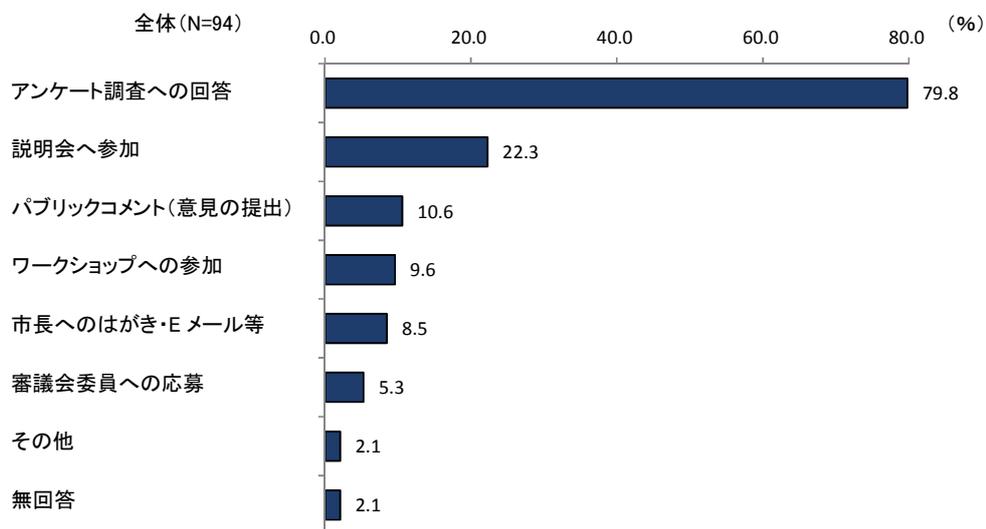
(※) サンプル数が少ない「18~19 歳」については参考として掲載している。

- 下関市内で、市政へ参画したことがある
 参画したことはないが、言葉の意味も、方法も知っていた
- 参画したことがなく、言葉の意味は知っていたが、方法は知らなかった
 参画したことがなく、言葉や方法をまったく知らなかった
- 無回答

(2) 「参画」の方法

(問 4-1) «問 4 で「下関市内で、市政へ参画したことがある」に○印をつけた方にお尋ねします。»
 あなたが行ったことがある「参画」はどの方法ですか。【あてはまるものすべてに○】

「参画」の方法について、「アンケート調査への回答」が 79.8%と最も高い。ついで、「説明会へ参加」(22.3%)、「パブリックコメント(意見の提出)」(10.6%)となっている。

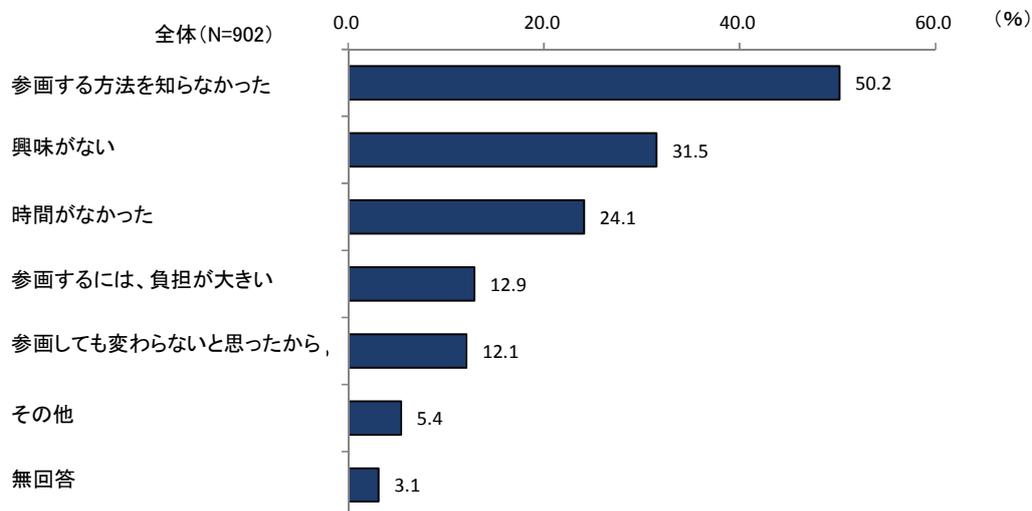


(3) 「参画」しなかった(できなかった)理由

(問 4-2) «問 4 で「参画したことはないが、言葉の意味も、方法も知っていた」、「参画したことがなく、言葉の意味は知っていたが、方法は知らなかった」、「参画したことがなく、言葉や方法をまったく知らなかった」に○印をつけた方にお尋ねします。»

参画しなかったもしくは参画できなかった理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

「参画」しなかった(できなかった)理由について、「参画する方法を知らなかった」が 50.2%と最も高い。ついで、「興味がない」(31.5%)、「時間がなかった」(24.1%)となっている。



「参画」しなかった（できなかつた）理由と市民の特徴との関連性（P15 表 2 参照）

「参画」しなかった（できなかつた）理由と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「参画する方法を知らなかつた」が最も高い。

【年齢別】

『20 歳代』、『30 歳代』は「興味がない」が最も高く、その他の年齢では「参画する方法を知らなかつた」が最も高い。

また、『20 歳代』、『30 歳代』は、「興味がない」が他の年齢と比べて高い。

【職業別】

『学生』は「興味がない」が最も高く、その他の職業では「参画する方法を知らなかつた」が最も高い。

他の職業に比べて、『公務員・団体職員』は「時間がなかつた」(41.5%)が高くなっている。

「参画」しなかった（できなかつた）理由と性別・年齢・職業との関連性（表 2）

【表 2 性別・年齢・職業別】

		全体	参画する 方法を 知らなかつた	興味がない	時間が なかつた	参画 するには、 負担が 大きい	参画しても 変わらないと 思ったから	その他	無回答
全体		902	453	284	217	116	109	49	28
		100.0%	50.2%	31.5%	24.1%	12.9%	12.1%	5.4%	3.1%
性別	男性	248	119	94	62	27	36	14	5
		100.0%	48.0%	37.9%	25.0%	10.9%	14.5%	5.6%	2.0%
	女性	371	190	125	93	54	50	18	6
		100.0%	51.2%	33.7%	25.1%	14.6%	13.5%	4.9%	1.6%
年齢別	18～19歳(※)	21	9	10	7	-	1	3	-
		100.0%	42.9%	47.6%	33.3%	-	4.8%	14.3%	-
	20歳代	111	53	54	31	12	15	2	2
		100.0%	47.7%	48.6%	27.9%	10.8%	13.5%	1.8%	1.8%
	30歳代	154	69	72	39	23	24	7	2
		100.0%	44.8%	46.8%	25.3%	14.9%	15.6%	4.5%	1.3%
	40歳代	144	80	47	33	10	13	8	2
		100.0%	55.6%	32.6%	22.9%	6.9%	9.0%	5.6%	1.4%
50歳代	158	88	35	44	21	16	14	2	
	100.0%	55.7%	22.2%	27.8%	13.3%	10.1%	8.9%	1.3%	
60歳代	161	80	36	44	22	17	3	7	
	100.0%	49.7%	22.4%	27.3%	13.7%	10.6%	1.9%	4.3%	
70歳以上	145	70	26	16	28	20	12	13	
	100.0%	48.3%	17.9%	11.0%	19.3%	13.8%	8.3%	9.0%	
職業別	会社員	243	129	79	62	28	27	9	9
		100.0%	53.1%	32.5%	25.5%	11.5%	11.1%	3.7%	3.7%
	公務員・団体職員	65	31	21	27	12	11	3	1
		100.0%	47.7%	32.3%	41.5%	18.5%	16.9%	4.6%	1.5%
	自営業・農林水産業	91	49	18	21	11	11	5	2
		100.0%	53.8%	19.8%	23.1%	12.1%	12.1%	5.5%	2.2%
	パート・アルバイト・ 派遣社員	147	76	57	37	15	22	7	1
		100.0%	51.7%	38.8%	25.2%	10.2%	15.0%	4.8%	0.7%
	専業主婦(主夫)	138	71	37	31	23	11	9	4
	100.0%	51.4%	26.8%	22.5%	16.7%	8.0%	6.5%	2.9%	
学生	47	18	27	18	4	3	2	-	
	100.0%	38.3%	57.4%	38.3%	8.5%	6.4%	4.3%	-	
無職	144	66	37	14	22	20	11	9	
	100.0%	45.8%	25.7%	9.7%	15.3%	13.9%	7.6%	6.3%	
その他	17	10	3	4	1	1	3	1	
	100.0%	58.8%	17.6%	23.5%	5.9%	5.9%	17.6%	5.9%	

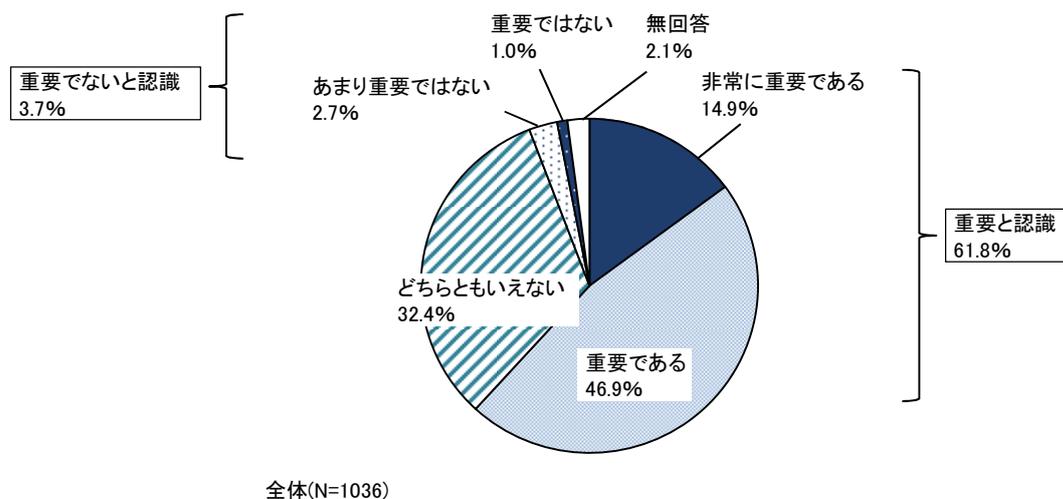
(※) サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

(4) 市民の市政参画への認識(重要度)

(問 5) 下関市では、下関市が行う施策や事業、下関市の「計画」「立案」「実施」「評価」の各段階において、市民の皆様が自主的かつ主体的に参加することについて重要だと考えていますが、あなたは、市民が市政に参画することについてどう思いますか。【あてはまるもの1つに○】

市民の市政参画への認識(重要度)について、「重要である」が46.9%と最も高い。ついで、「どちらともいえない」(32.4%)、「非常に重要である」(14.9%)となっている。

分析にあたって、「非常に重要である」、「重要である」を「重要と認識」に、「重要ではない」、「あまり重要ではない」を「重要でない」と認識にそれぞれ分類した。



市民の市政参画への認識(重要度)と市民の特徴との関連性(P17 図4参照)

市民の市政参画への認識(重要度)と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「重要である」が最も高い。

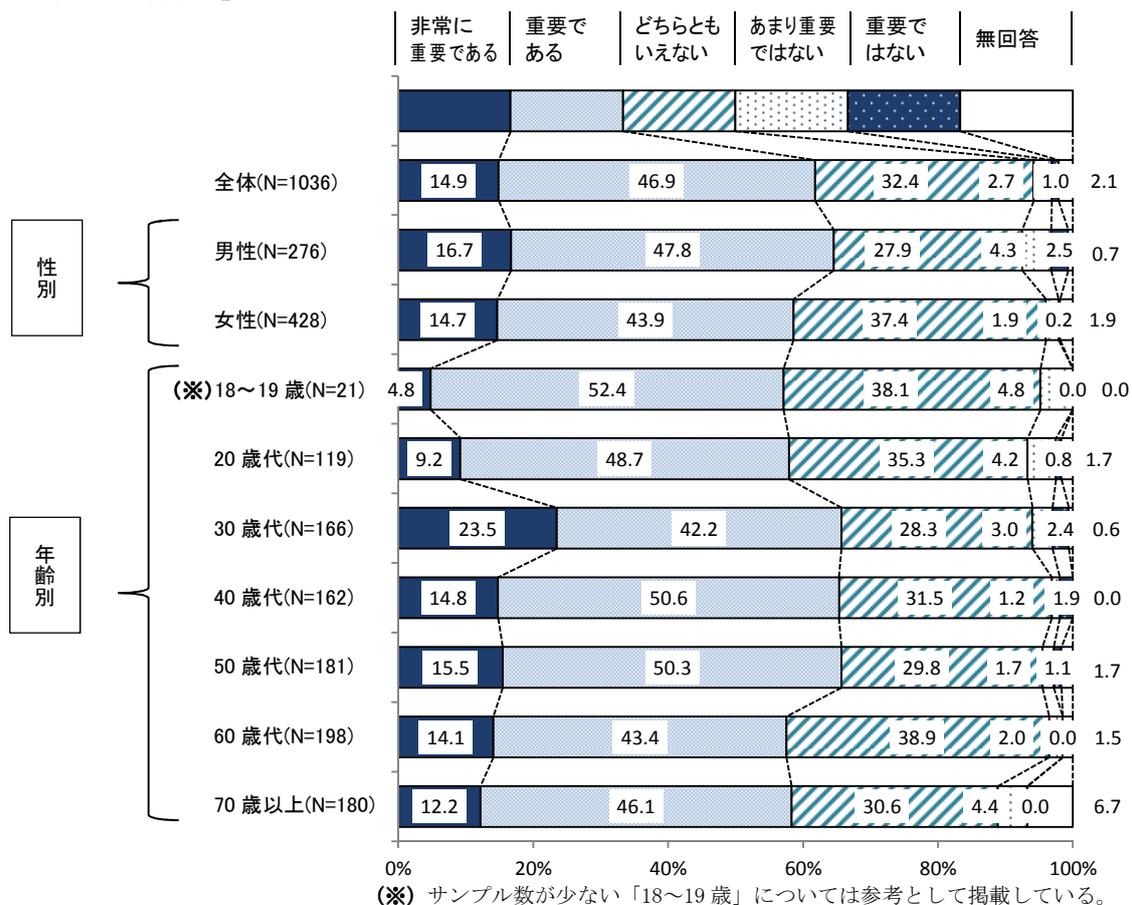
【年齢別】

年齢にかかわらず、「重要である」が最も高い。

他の年齢に比べて、『30歳代』は「非常に重要である」(23.5%)が高くなっている。

市民の市政参画への認識（重要度）と性別・年齢との関連性（図4）

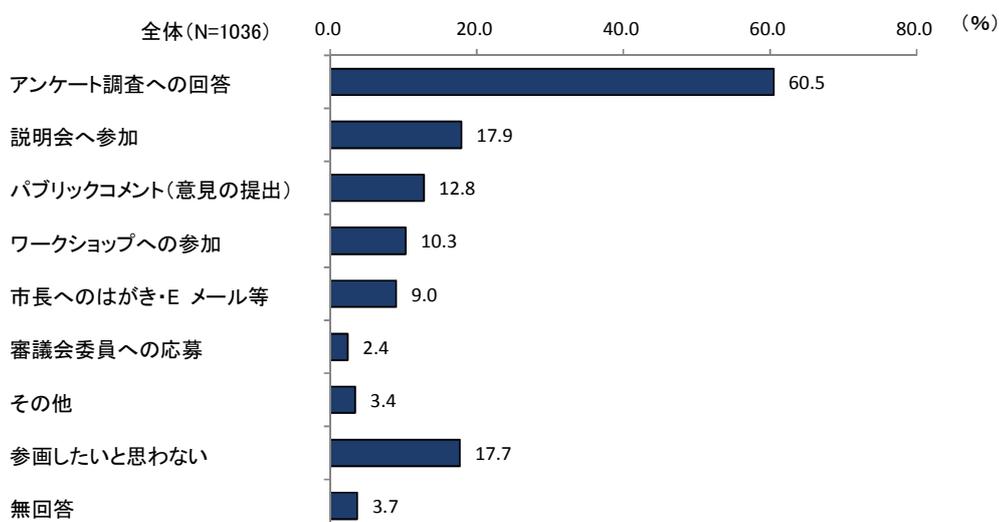
【図4 性別・年齢別】



(5) 今後「参画」したい方法

(問6)あなたは、今後、どのような方法で参画したいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

今後「参画」したい方法について、「アンケート調査への回答」が60.5%と最も高い。ついで、「説明会へ参加」(17.9%)、「参画したいと思わない」(17.7%)となっている。



今後「参画」したい方法と市民の特徴との関連性 (P18 表 3 参照)

今後「参画」したい方法と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「アンケート調査への回答」が最も高い。

【年齢別】

年齢にかかわらず、「アンケート調査への回答」が最も高い。

他の年齢と比べて、『20歳代』は「参画したいと思わない」(23.5%)が高くなっている。

【職業別】

職業にかかわらず、「アンケート調査への回答」が最も高い。

今後「参画」したい方法と性別・年齢・職業との関連性 (表 3)

【表 3 性別・年齢・職業別】

		全体	アンケート調査への回答	説明会へ参加	パブリックコメント(意見の提出)	ワークショップへの参加	市長へのはがき・Eメール等	審議会委員への応募	その他	参画したいと思わない	無回答
全体		1036	627	185	133	107	93	25	35	183	38
		100.0%	60.5%	17.9%	12.8%	10.3%	9.0%	2.4%	3.4%	17.7%	3.7%
性別	男性	276	168	52	38	29	26	13	12	54	7
		100.0%	60.9%	18.8%	13.8%	10.5%	9.4%	4.7%	4.3%	19.6%	2.5%
性別	女性	428	265	69	49	40	37	5	13	70	15
		100.0%	61.9%	16.1%	11.4%	9.3%	8.6%	1.2%	3.0%	16.4%	3.5%
年齢別	18～19歳(※)	21	14	-	2	-	3	-	1	3	-
		100.0%	66.7%	-	9.5%	-	14.3%	-	4.8%	14.3%	-
	20歳代	119	79	8	15	11	8	1	4	28	1
		100.0%	66.4%	6.7%	12.6%	9.2%	6.7%	0.8%	3.4%	23.5%	0.8%
	30歳代	166	106	20	22	23	14	4	9	29	1
		100.0%	63.9%	12.0%	13.3%	13.9%	8.4%	2.4%	5.4%	17.5%	0.6%
	40歳代	162	100	31	32	24	19	3	5	17	3
		100.0%	61.7%	19.1%	19.8%	14.8%	11.7%	1.9%	3.1%	10.5%	1.9%
50歳代	181	104	34	22	15	21	9	5	29	10	
	100.0%	57.5%	18.8%	12.2%	8.3%	11.6%	5.0%	2.8%	16.0%	5.5%	
60歳代	198	119	47	24	21	18	5	5	39	8	
	100.0%	60.1%	23.7%	12.1%	10.6%	9.1%	2.5%	2.5%	19.7%	4.0%	
70歳以上	180	97	44	14	12	8	3	6	38	14	
	100.0%	53.9%	24.4%	7.8%	6.7%	4.4%	1.7%	3.3%	21.1%	7.8%	
職業別	会社員	269	167	47	46	27	20	5	9	49	5
		100.0%	62.1%	17.5%	17.1%	10.0%	7.4%	1.9%	3.3%	18.2%	1.9%
	公務員・団体職員	73	44	11	12	8	8	1	4	9	4
		100.0%	60.3%	15.1%	16.4%	11.0%	11.0%	1.4%	5.5%	12.3%	5.5%
	自営業・農林水産業	105	56	30	14	21	11	7	3	16	3
		100.0%	53.3%	28.6%	13.3%	20.0%	10.5%	6.7%	2.9%	15.2%	2.9%
	パート・アルバイト・派遣社員	159	95	19	17	11	12	2	6	33	5
		100.0%	59.7%	11.9%	10.7%	6.9%	7.5%	1.3%	3.8%	20.8%	3.1%
専業主婦(主夫)	170	105	32	13	17	14	2	5	31	7	
	100.0%	61.8%	18.8%	7.6%	10.0%	8.2%	1.2%	2.9%	18.2%	4.1%	
学生	50	35	3	8	1	6	1	3	9	-	
	100.0%	70.0%	6.0%	16.0%	2.0%	12.0%	2.0%	6.0%	18.0%	-	
無職	175	101	39	18	15	14	5	5	34	11	
	100.0%	57.7%	22.3%	10.3%	8.6%	8.0%	2.9%	2.9%	19.4%	6.3%	
その他	23	15	3	4	6	6	2	-	1	2	
	100.0%	65.2%	13.0%	17.4%	26.1%	26.1%	8.7%	-	4.3%	8.7%	

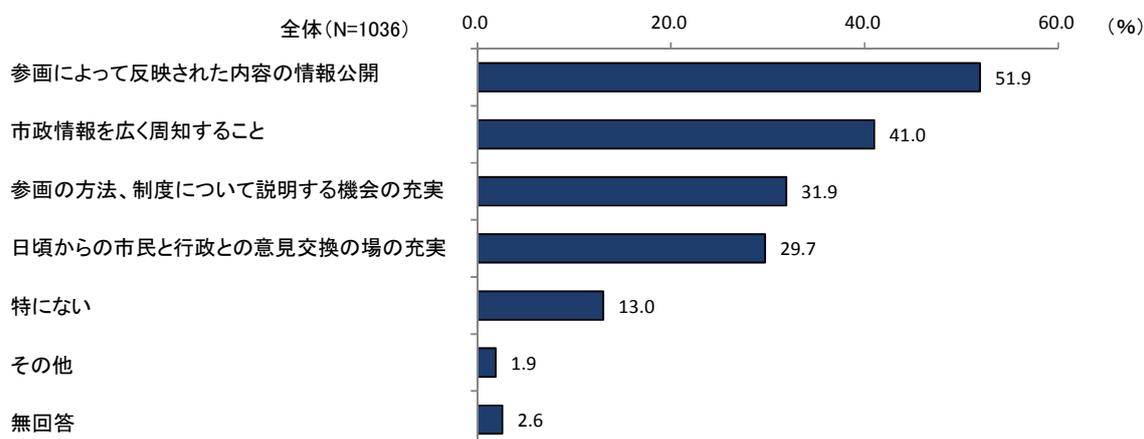
(※) サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

(6) 市民の市政参画のために下関市に望むこと

(問7) 市民が市政に参画するために、あなたが下関市にしてほしいと思うことは何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

市民の市政参加のために下関市に望むことについて、「参画によって反映された内容の情報公開」が51.9%と最も高い。ついで、「市政情報を広く周知すること」(41.0%)、「参画の方法、制度について説明する機会の充実」(31.9%)となっている。



市民の市政参加のために下関市に望むことと市民の特徴との関連性 (P19 表4参照)

市民の市政参画のために下関に望むことと市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【年齢別】

年齢にかかわらず、「参画によって反映された内容の情報公開」が最も高い。特に、『30歳代』は62.0%と最も高くなっている。

市民の市政参加のために下関市に望むことと年齢との関連性 (表4)

【表4 年齢別】

	全体	参画によって反映された内容の情報公開	市政情報を広く周知すること	参画の方法、制度について説明する機会の充実	日頃からの市民と行政との意見交換の場の充実	特にない	その他	無回答	
全体	1036 100.0%	538 51.9%	425 41.0%	330 31.9%	308 29.7%	135 13.0%	20 1.9%	27 2.6%	
年齢別	18~19歳(※)	21 100.0%	7 33.3%	5 23.8%	6 28.6%	5 23.8%	5 4.8%	1 -	
	20歳代	119 100.0%	58 48.7%	47 39.5%	25 21.0%	35 29.4%	23 19.3%	3 0.8%	
	30歳代	166 100.0%	103 62.0%	76 45.8%	61 36.7%	54 32.5%	13 7.8%	7 4.2%	
	40歳代	162 100.0%	93 57.4%	75 46.3%	63 38.9%	52 32.1%	13 8.0%	3 1.9%	
	50歳代	181 100.0%	96 53.0%	76 42.0%	59 32.6%	54 29.8%	19 10.5%	2 1.1%	6 3.3%
	60歳代	198 100.0%	106 53.5%	80 40.4%	68 34.3%	56 28.3%	25 12.6%	2 1.0%	4 2.0%
	70歳以上	180 100.0%	70 38.9%	61 33.9%	44 24.4%	50 27.8%	36 20.0%	2 1.1%	15 8.3%

(※) サンプル数が少ない「18~19歳」については参考として掲載している。

4. 市民活動について

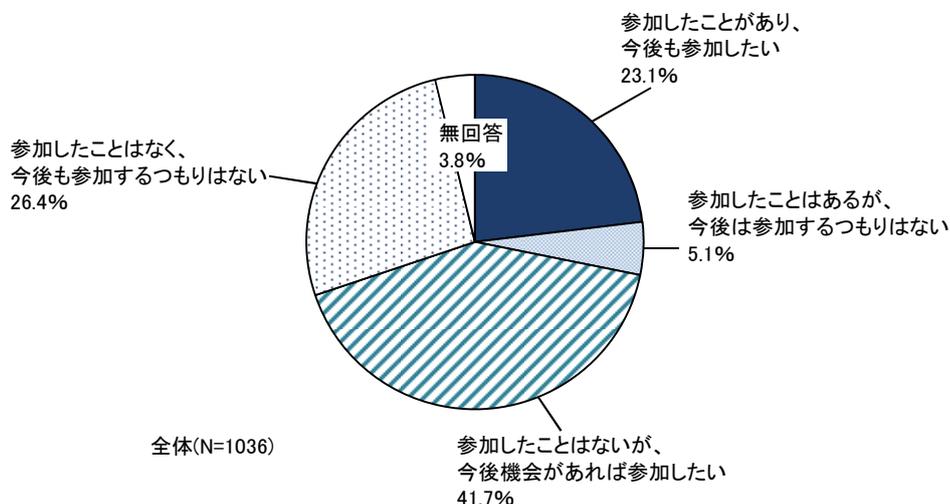
(1) 「市民活動」の経験および今後の意向

(問 8) あなたは、下関市内で「市民活動」に参加したことがありますか。また、今後、参加したいと思いませんか。【あてはまるもの1つに○】

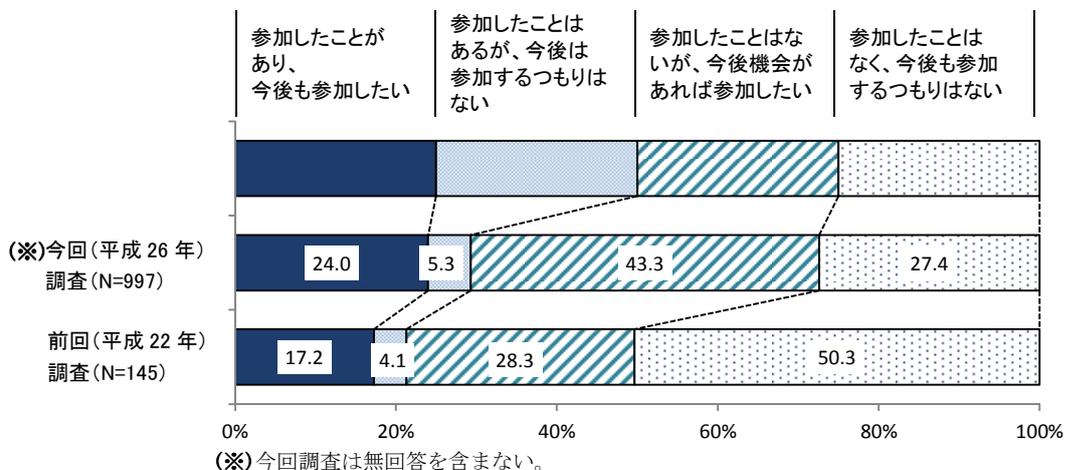
「市民活動」の経験および今後の意向について、「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」が 41.7%と最も高い。ついで、「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」(26.4%)、「参加したことがあり、今後も参加したい」(23.1%)となっている。

【経年比較】

『今回調査』は『前回調査』に比べて、「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」が 15.0ポイント増加している。



【経年比較】



「市民活動」の経験および今後の意向と市民の特徴との関連性
(P21 図5、P22 図6・7参照)

「市民活動」の経験および今後の意向と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」が最も高い。

【年齢別】

『70歳以上』は「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」が最も高く、その他の年齢では「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」が最も高い。

【職業別】

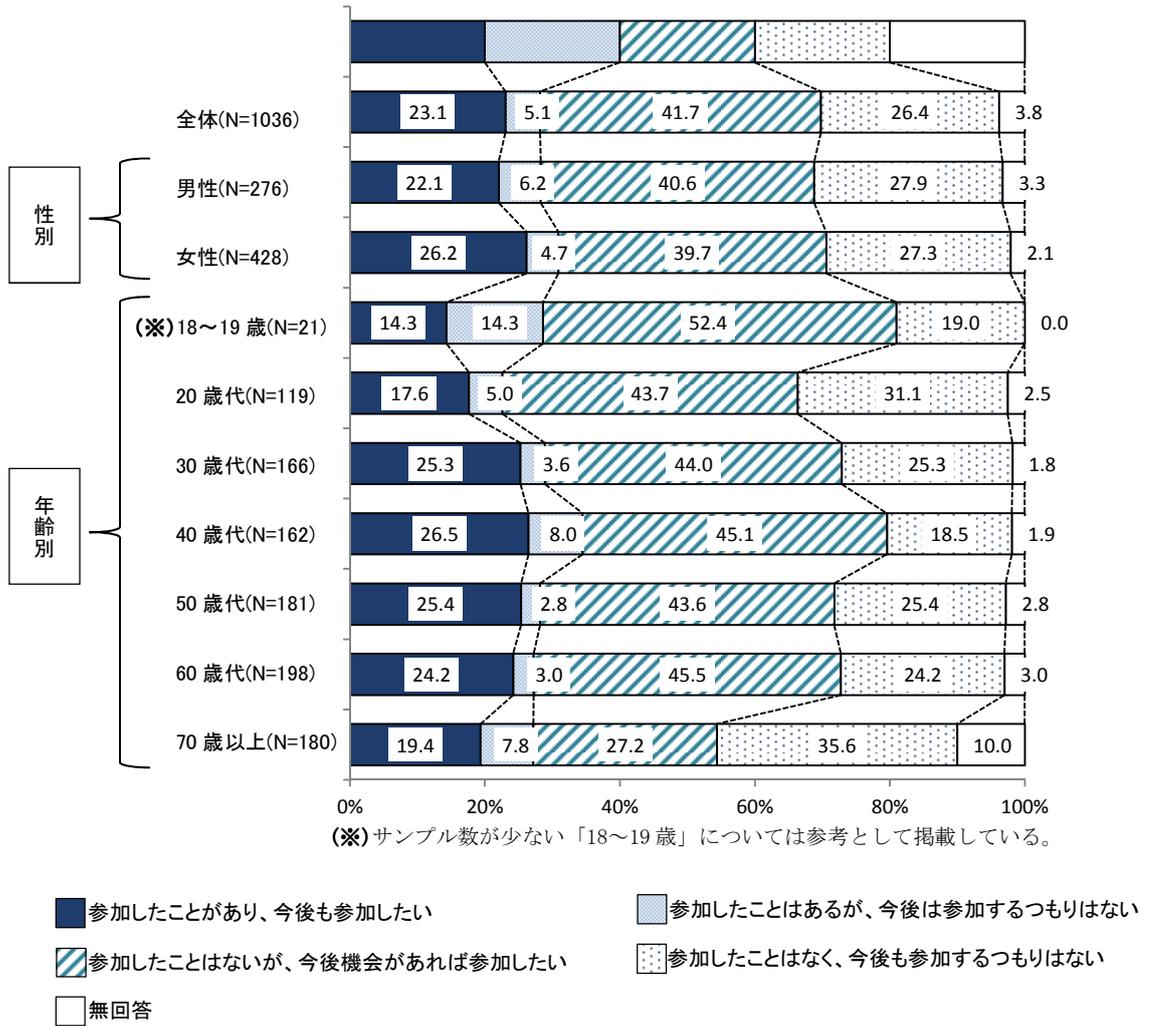
『無職』は「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」が最も高く、その他の職業では「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」が最も高い。

【居住地区別】

居住地区にかかわらず、「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」が最も高い。

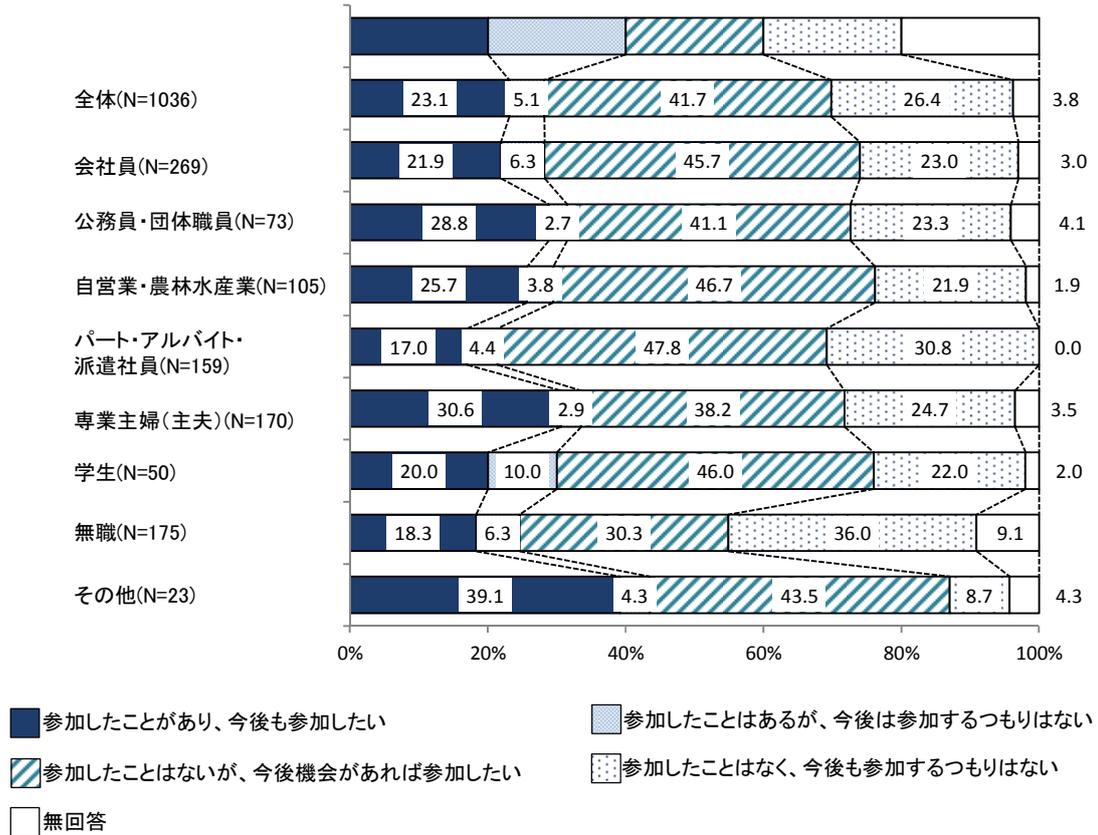
「市民活動」の経験および今後の意向と性別・年齢との関連性（図5）

【図5 性別・年齢別】



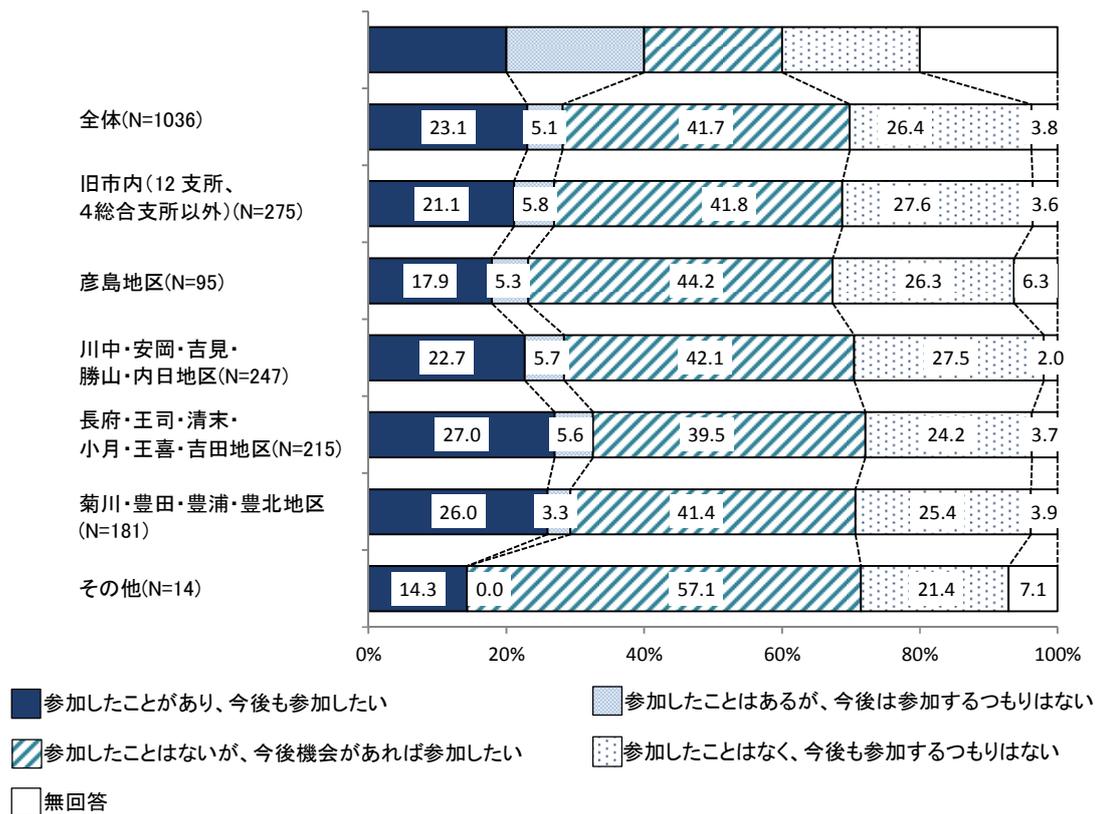
「市民活動」の経験および今後の意向と職業との関連性（図6）

【図6 職業別】



「市民活動」の経験および今後の意向と居住地区との関連性（図7）

【図7 居住地区別】



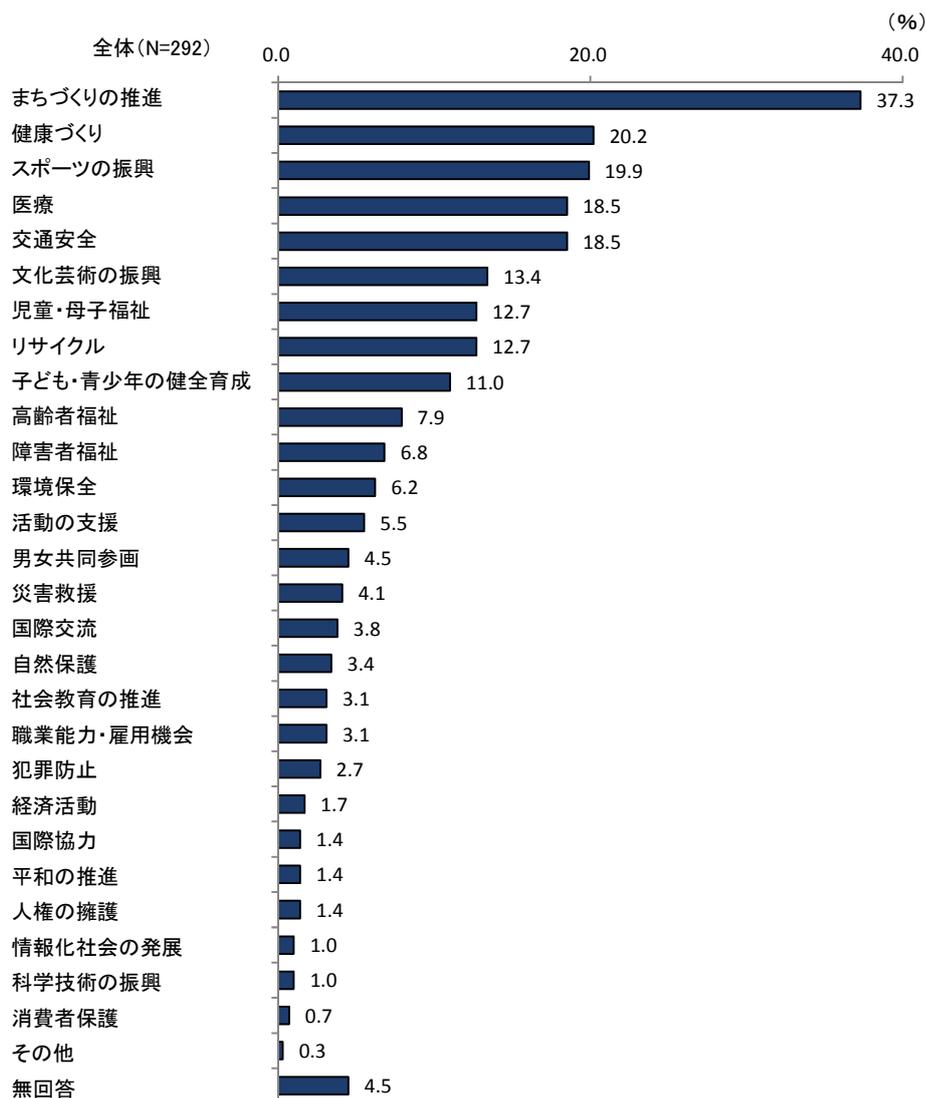
(2) 市民活動をしたことのある分野

(問 8-1)《問 8 で「参加したことがあり、今後も参加したい」または「参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない」に○印をつけた方にお尋ねします。》

分野別の市民活動の例のうち、あなたが参加している、もしくは参加したことがある分野は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

市民活動をしたことのある分野について、「まちづくりの推進」が 37.3%と最も高い。ついで、「健康づくり」(20.2%)、「スポーツの振興」(19.9%)となっている。



市民活動をしたことのある分野と市民の特徴との関連性 (P24 表 5 参照)

市民活動をしたことのある分野と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「まちづくりの推進」が最も高い。

『男性』は『女性』に比べて、「スポーツの振興」(24.4%)が 10.0 ポイント多く、『女性』は『男性』に比べて、「健康づくり」(23.5%)が 17.1 ポイント、「児童・母子福祉」(18.9%)が 15.1 ポイント多くなっている。

【年齢別】

『20 歳代』は「まちづくりの推進」と「スポーツの振興」(ともに 25.9%)が最も高く、『30 歳代』では「児童・母子福祉」(35.4%)が、その他の年齢では「まちづくりの推進」が最も高い。

市民活動をしたことのある分野と性別・年齢との関連性 (表 5)

【表 5 性別・年齢別】

		全体	まちづくりの 推進	健康づくり	スポーツの 振興	医療	交通安全	文化芸術の 振興	児童・母子 福祉	リサイクル	子ども・ 青少年の 健全育成
全体		292 100.0%	109 37.3%	59 20.2%	58 19.9%	54 18.5%	54 18.5%	39 13.4%	37 12.7%	37 12.7%	32 11.0%
性別	男性	78 100.0%	30 38.5%	5 6.4%	19 24.4%	13 16.7%	16 20.5%	6 7.7%	3 3.8%	4 5.1%	11 14.1%
	女性	132 100.0%	47 35.6%	31 23.5%	19 14.4%	21 15.9%	28 21.2%	19 14.4%	25 18.9%	21 15.9%	13 9.8%
年齢別	18～19歳(※)	6 100.0%	4 66.7%	-	1 16.7%	-	-	-	-	-	1 16.7%
	20歳代	27 100.0%	7 25.9%	1 3.7%	7 25.9%	5 18.5%	1 3.7%	2 7.4%	2 7.4%	-	2 7.4%
	30歳代	48 100.0%	13 27.1%	8 16.7%	10 20.8%	8 16.7%	4 8.3%	6 12.5%	17 35.4%	3 6.3%	4 8.3%
	40歳代	56 100.0%	21 37.5%	7 12.5%	11 19.6%	16 28.6%	15 26.8%	5 8.9%	5 8.9%	5 8.9%	8 14.3%
	50歳代	51 100.0%	19 37.3%	6 11.8%	11 21.6%	12 23.5%	11 21.6%	6 11.8%	5 9.8%	5 15.7%	8 13.7%
	60歳代	54 100.0%	23 42.6%	18 33.3%	8 14.8%	5 9.3%	14 25.9%	11 20.4%	4 7.4%	11 20.4%	5 9.3%
	70歳以上	49 100.0%	22 44.9%	19 38.8%	10 20.4%	7 14.3%	9 18.4%	9 18.4%	4 8.2%	8 16.3%	5 10.2%
			高齢者 福祉	障害者 福祉	環境保全	活動の 支援	男女共同 参画	災害救援	国際交流	自然保護	社会教育の 推進
全体		23 7.9%	20 6.8%	18 6.2%	16 5.5%	13 4.5%	12 4.1%	11 3.8%	10 3.4%	9 3.1%	9 3.1%
性別	男性	5 6.4%	4 5.1%	4 5.1%	4 5.1%	-	7 9.0%	2 2.6%	3 3.8%	3 3.8%	2 2.6%
	女性	12 9.1%	11 8.3%	9 6.8%	9 6.8%	8 6.1%	3 2.3%	4 3.0%	3 2.3%	2 1.5%	4 3.0%
年齢別	18～19歳(※)	1 16.7%	1 16.7%	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	4 14.8%	3 11.1%	-	-	-	2 7.4%	2 7.4%	-	-	1 3.7%
	30歳代	1 2.1%	2 4.2%	-	-	-	3 6.3%	1 2.1%	1 2.1%	-	4 8.3%
	40歳代	-	3 5.4%	-	1 1.8%	2 3.6%	1 1.8%	4 7.1%	2 3.6%	2 3.6%	2 3.6%
	50歳代	3 5.9%	3 5.9%	1 2.0%	2 3.9%	1 2.0%	3 5.9%	2 3.9%	-	2 3.9%	2 3.9%
	60歳代	7 13.0%	7 13.0%	7 13.0%	7 13.0%	7 13.0%	2 3.7%	2 3.7%	3 5.6%	3 5.6%	-
	70歳以上	7 14.3%	1 2.0%	10 20.4%	6 12.2%	3 6.1%	1 2.0%	-	3 6.1%	2 4.1%	-
			犯罪防止	経済活動	国際協力	平和の 推進	人権の 擁護	情報化 社会の 発展	科学技術の 振興	消費者 保護	その他
全体		8 2.7%	5 1.7%	4 1.4%	4 1.4%	4 1.4%	3 1.0%	3 1.0%	2 0.7%	1 0.3%	13 4.5%
性別	男性	2 2.6%	1 1.3%	-	-	-	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	1 1.3%	7 9.0%
	女性	2 1.5%	1 0.8%	2 1.5%	3 2.3%	1 0.8%	2 1.5%	1 0.8%	-	-	4 3.0%
年齢別	18～19歳(※)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	1 3.7%	-	-	-	-	1 3.7%	-	-	1 3.7%	1 3.7%
	30歳代	1 2.1%	1 2.1%	1 2.1%	-	-	-	2 4.2%	-	-	3 6.3%
	40歳代	-	-	1 1.8%	-	-	-	-	-	-	2 3.6%
	50歳代	2 3.9%	3 5.9%	-	1 2.0%	2 3.9%	1 2.0%	-	1 2.0%	-	1 2.0%
	60歳代	1 1.9%	1 1.9%	2 3.7%	3 5.6%	1 1.9%	1 1.9%	-	-	-	3 5.6%
	70歳以上	3 6.1%	-	-	-	2 2.0%	-	1 2.0%	1 2.0%	-	3 6.1%

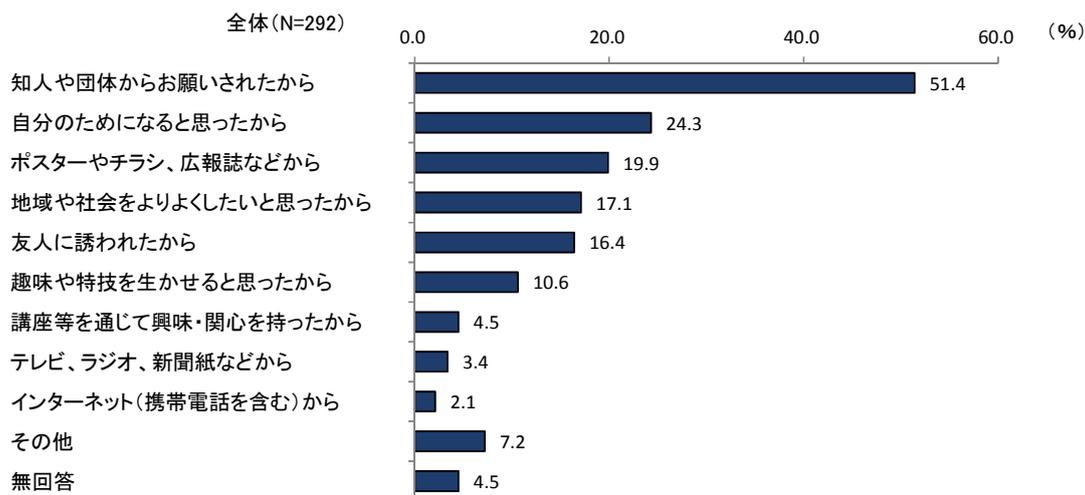
(※) サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

(3) 市民活動に参加したきっかけ

(問 8-2)《問 8 で「参加したことがあり、今後も参加したい」または「参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない」に○印をつけた方にお尋ねします。》

あなたが市民活動に参加したきっかけは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

市民活動に参加したきっかけについて、「知人や団体からお願いされたから」が 51.4%と最も高い。ついで、「自分のためになると思ったから」(24.3%)、「ポスターやチラシ、広報誌などから」(19.9%)となっている。



市民活動に参加したきっかけと市民の特徴との関連性 (P26 表 6 参照)

市民活動に参加したきっかけと市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【年齢別】

年齢にかかわらず、「知人や団体からお願いされたから」が最も高い。

また、『40 歳代』から年齢が上がるにつれて、「自分のためになると思ったから」が高くなっている。

【職業別】

職業にかかわらず、「知人や団体からお願いされたから」が最も高く、特に『公務員・団体職員』、『パート・アルバイト・派遣社員』、『専業主婦(主夫)』、『学生』、『無職』は 5 割以上と高くなっている。

【今後の参加意向別】

今後の参加意向にかかわらず、「知人や団体からお願いされたから」が最も高い。

市民活動に参加したきっかけと年齢・職業・今後の参加意向との関連性（表6）

【表6 年齢・職業・今後の参加意向別】

		全体	知人や 団体から お願いさ れたから	自分のた めになる と思った から	ポスター やチラシ、 広報誌な どから	地域や 社会をよ りよくし たと思っ たから	友人に 誘われた から	趣味や 特技を 生かせる と思っ たから	講座等 を通じて 興味・ 関心を持 った から	テレビ、 ラジオ、 新聞紙 などから	インター ネット（ 携帯電話 を含む） から	その他	無回答
全体		292	150	71	58	50	48	31	13	10	6	21	13
		100.0%	51.4%	24.3%	19.9%	17.1%	16.4%	10.6%	4.5%	3.4%	2.1%	7.2%	4.5%
年齢別	18～19歳（※）	6	5	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-
		100.0%	83.3%	-	33.3%	16.7%	-	-	-	-	-	-	-
	20歳代	27	11	8	2	2	4	3	1	-	2	2	1
		100.0%	40.7%	29.6%	7.4%	7.4%	14.8%	11.1%	3.7%	-	7.4%	7.4%	3.7%
	30歳代	48	19	11	13	6	10	4	-	2	2	4	2
		100.0%	39.6%	22.9%	27.1%	12.5%	20.8%	8.3%	-	4.2%	4.2%	8.3%	4.2%
	40歳代	56	25	9	10	7	5	5	4	4	2	6	4
		100.0%	44.6%	16.1%	17.9%	12.5%	8.9%	8.9%	7.1%	7.1%	3.6%	10.7%	7.1%
50歳代	51	31	12	6	5	8	6	1	-	-	7	2	
	100.0%	60.8%	23.5%	11.8%	9.8%	15.7%	11.8%	2.0%	-	-	13.7%	3.9%	
60歳代	54	31	13	15	12	7	5	3	3	-	2	3	
	100.0%	57.4%	24.1%	27.8%	22.2%	13.0%	9.3%	5.6%	5.6%	-	3.7%	5.6%	
70歳以上	49	28	17	10	17	14	8	4	1	-	-	1	
	100.0%	57.1%	34.7%	20.4%	34.7%	28.6%	16.3%	8.2%	2.0%	-	-	2.0%	
職業別	会社員	76	37	18	9	10	8	2	2	3	3	7	4
		100.0%	48.7%	23.7%	11.8%	13.2%	10.5%	10.5%	2.6%	2.6%	3.9%	9.2%	5.3%
	公務員・団体職員	23	12	5	5	3	4	3	-	1	-	2	-
		100.0%	52.2%	21.7%	21.7%	13.0%	17.4%	13.0%	-	4.3%	-	8.7%	-
	自営業・農林水産業	31	12	10	6	9	3	3	2	-	1	2	2
		100.0%	38.7%	32.3%	19.4%	29.0%	9.7%	9.7%	6.5%	-	3.2%	6.5%	6.5%
	パート・アルバイト・派遣社員	34	21	4	9	5	6	1	-	2	1	5	2
		100.0%	61.8%	11.8%	26.5%	14.7%	17.6%	2.9%	-	5.9%	2.9%	14.7%	5.9%
専業主婦（主夫）	57	29	12	15	9	9	4	5	4	1	2	3	
	100.0%	50.9%	21.1%	26.3%	15.8%	15.8%	7.0%	8.8%	7.0%	1.8%	3.5%	5.3%	
学生	15	9	3	2	1	2	1	-	-	-	-	1	
	100.0%	60.0%	20.0%	13.3%	6.7%	13.3%	6.7%	-	-	-	-	6.7%	
無職	43	25	15	11	12	14	8	3	1	-	1	-	
	100.0%	58.1%	34.9%	25.6%	27.9%	32.6%	18.6%	7.0%	2.3%	-	2.3%	-	
その他	10	4	3	1	1	2	2	1	-	-	2	1	
	100.0%	40.0%	30.0%	10.0%	10.0%	20.0%	20.0%	10.0%	-	-	20.0%	10.0%	
今後の参加意向別	①参加したことがあり、今後も参加したい	239	118	63	53	43	40	28	13	9	6	16	8
		100.0%	49.4%	26.4%	22.2%	18.0%	16.7%	11.7%	5.4%	3.8%	2.5%	6.7%	3.3%
	②参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない	53	32	8	5	7	8	3	-	1	-	5	5
		100.0%	60.4%	15.1%	9.4%	13.2%	15.1%	5.7%	-	1.9%	-	9.4%	9.4%

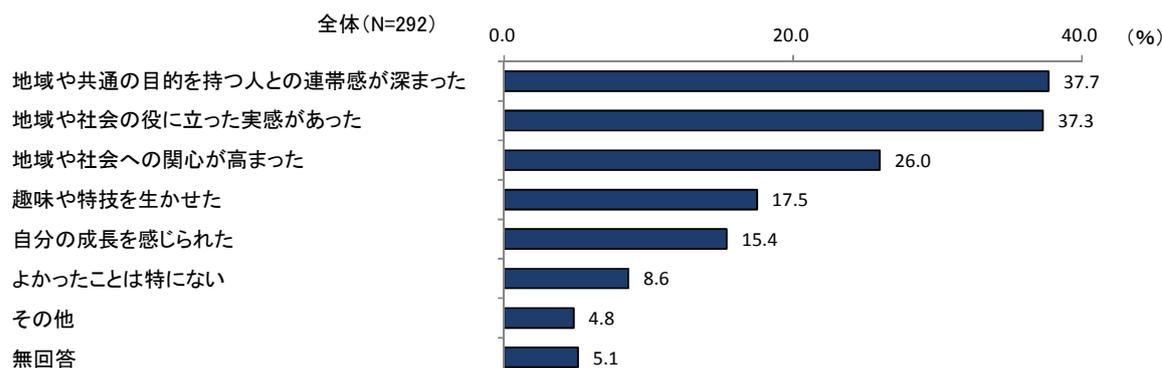
（※）サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

（4）市民活動に参加してよかったこと

（問 8-3）《問 8 で「参加したことがあり、今後も参加したい」または「参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない」に○印をつけた方にお尋ねします。》

あなたが市民活動に参加してよかったと思うことは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

市民活動に参加してよかったことについて、「地域や共通の目的を持つ人との連帯感が深まった」が37.7%と最も高い。ついで、「地域や社会の役に立った実感があった」(37.3%)、「地域や社会への関心が高まった」(26.0%)となっている。



市民活動に参加してよかったことと市民の特徴との関連性 (P27 表 7 参照)

市民活動に参加してよかったことと市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

『男性』は「地域や社会の役に立った実感があった」(44.9%)が最も高く、『女性』は「地域や共通の目的を持つ人との連帯感が深まった」(40.9%)が最も高い。

また、『女性』は「よかったことは特にない」が 2.3%と少ないことが特徴的である。

【年齢別】

『20 歳代』、『40 歳代』、『50 歳代』は「地域や社会の役に立った実感があった」が最も高く、『30 歳代』、『60 歳代』、『70 歳以上』は「地域や共通の目的を持つ人との連帯感が深まった」が最も高い。

【職業別】

『会社員』(39.5%)、『公務員・団体職員』(39.1%)、『パート・アルバイト・派遣社員』(52.9%)、『学生』(40.0%)は「地域や社会の役に立った実感があった」が最も高い。

また、『専業主婦(主夫)』(49.1%)、『無職』(55.8%)は「地域や共通の目的を持つ人との連帯感が深まった」が最も高い。『自営業・農林水産業』は「地域や共通の目的を持つ人との連帯感が深まった」と「地域や社会の役に立った実感があった」と「地域や社会への関心が高まった」(ともに 35.5%)が最も高い。

市民活動に参加してよかったことと性別・年齢・職業との関連性 (表 7)

【表 7 性別・年齢・職業別】

		全体	地域や共通の目的を持つ人との連帯感が深まった	地域や社会の役に立った実感があった	地域や社会への関心が高まった	趣味や特技を生かした	自分の成長を感じられた	よかったことは特にない	その他	無回答
全体		292 100.0%	110 37.7%	109 37.3%	76 26.0%	51 17.5%	45 15.4%	25 8.6%	14 4.8%	15 5.1%
性別	男性	78 100.0%	28 35.9%	35 44.9%	24 30.8%	10 12.8%	8 10.3%	12 15.4%	2 2.6%	4 5.1%
	女性	132 100.0%	54 40.9%	47 35.6%	32 24.2%	23 17.4%	23 17.4%	3 2.3%	8 6.1%	6 4.5%
年齢別	18～19歳(※)	6 100.0%	1 16.7%	3 50.0%	3 50.0%	-	-	-	-	1 16.7%
	20歳代	27 100.0%	6 22.2%	10 37.0%	5 18.5%	6 22.2%	5 18.5%	2 7.4%	1 3.7%	-
	30歳代	48 100.0%	17 35.4%	15 31.3%	15 31.3%	8 16.7%	11 22.9%	3 6.3%	3 6.3%	2 4.2%
	40歳代	56 100.0%	17 30.4%	18 32.1%	10 17.9%	8 14.3%	4 7.1%	10 17.9%	4 7.1%	2 3.6%
	50歳代	51 100.0%	17 33.3%	23 45.1%	11 21.6%	8 15.7%	8 15.7%	5 9.8%	3 5.9%	2 3.9%
	60歳代	54 100.0%	22 40.7%	21 38.9%	15 27.8%	12 22.2%	10 18.5%	2 3.7%	2 3.7%	4 7.4%
	70歳以上	49 100.0%	30 61.2%	19 38.8%	17 34.7%	9 18.4%	7 14.3%	2 4.1%	1 2.0%	4 8.2%
職業別	会社員	76 100.0%	25 32.9%	30 39.5%	18 23.7%	11 14.5%	15 19.7%	9 11.8%	6 7.9%	2 2.6%
	公務員・団体職員	23 100.0%	5 21.7%	9 39.1%	6 26.1%	4 17.4%	3 13.0%	3 13.0%	-	1 4.3%
	自営業・農林水産業	31 100.0%	11 35.5%	11 35.5%	11 35.5%	4 12.9%	3 9.7%	5 16.1%	-	2 6.5%
	パート・アルバイト・派遣社員	34 100.0%	10 29.4%	18 52.9%	5 14.7%	5 14.7%	5 14.7%	2 5.9%	1 2.9%	1 2.9%
	専業主婦(主夫)	57 100.0%	28 49.1%	14 24.6%	19 33.3%	9 15.8%	10 17.5%	1 1.8%	3 5.3%	4 7.0%
	学生	15 100.0%	2 13.3%	6 40.0%	5 33.3%	2 13.3%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%	1 6.7%
	無職	43 100.0%	24 55.8%	17 39.5%	10 23.3%	11 25.6%	6 14.0%	2 4.7%	3 7.0%	3 7.0%
	その他	10 100.0%	5 50.0%	4 40.0%	1 10.0%	4 40.0%	1 10.0%	1 10.0%	-	1 10.0%

(※) サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

(5) 今後、市民活動を希望する分野

(問 8-4)《問 8 で「参加したことがあり、今後も参加したい」または「参加したことはないが、今後機会があれば参加したい」に○印をつけた方にお尋ねします。》

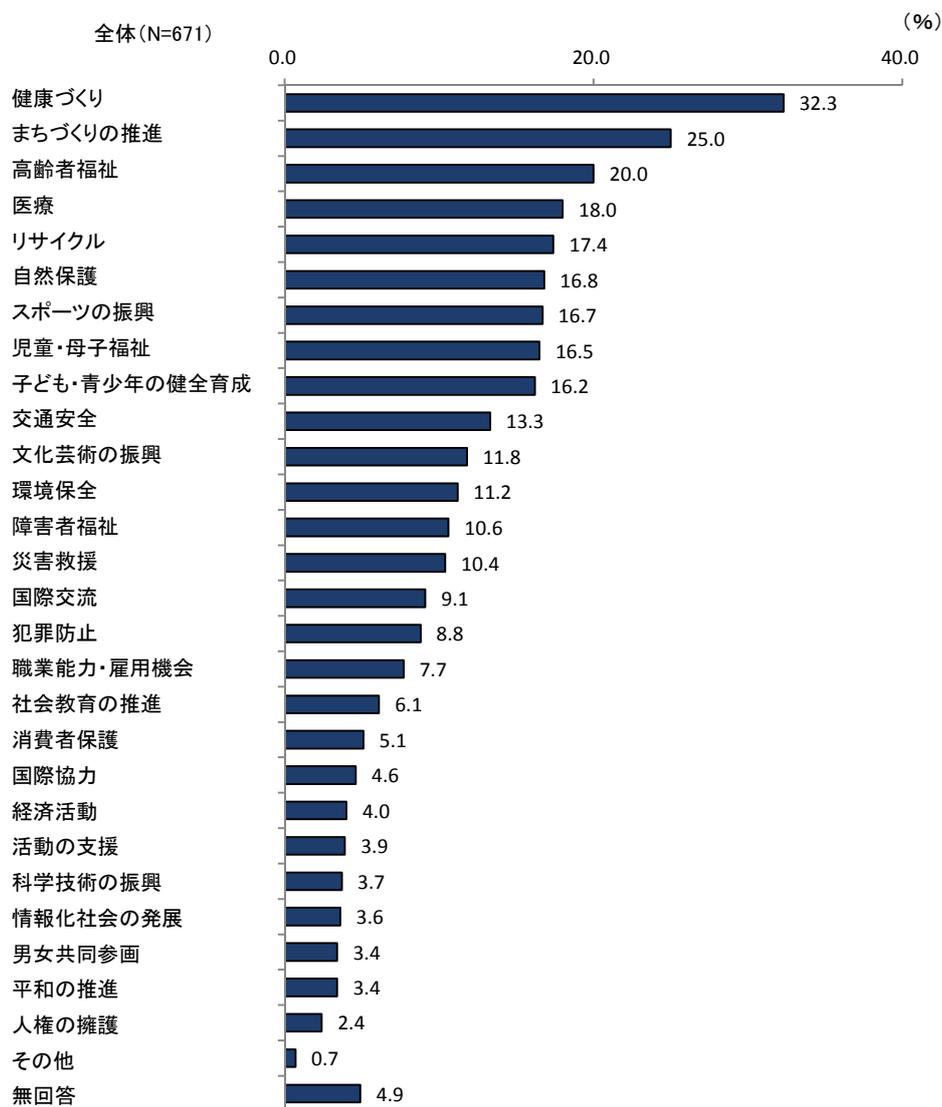
あなたは、分野別の市民活動の例のうち、今後、どのような分野で参加してみたいと思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

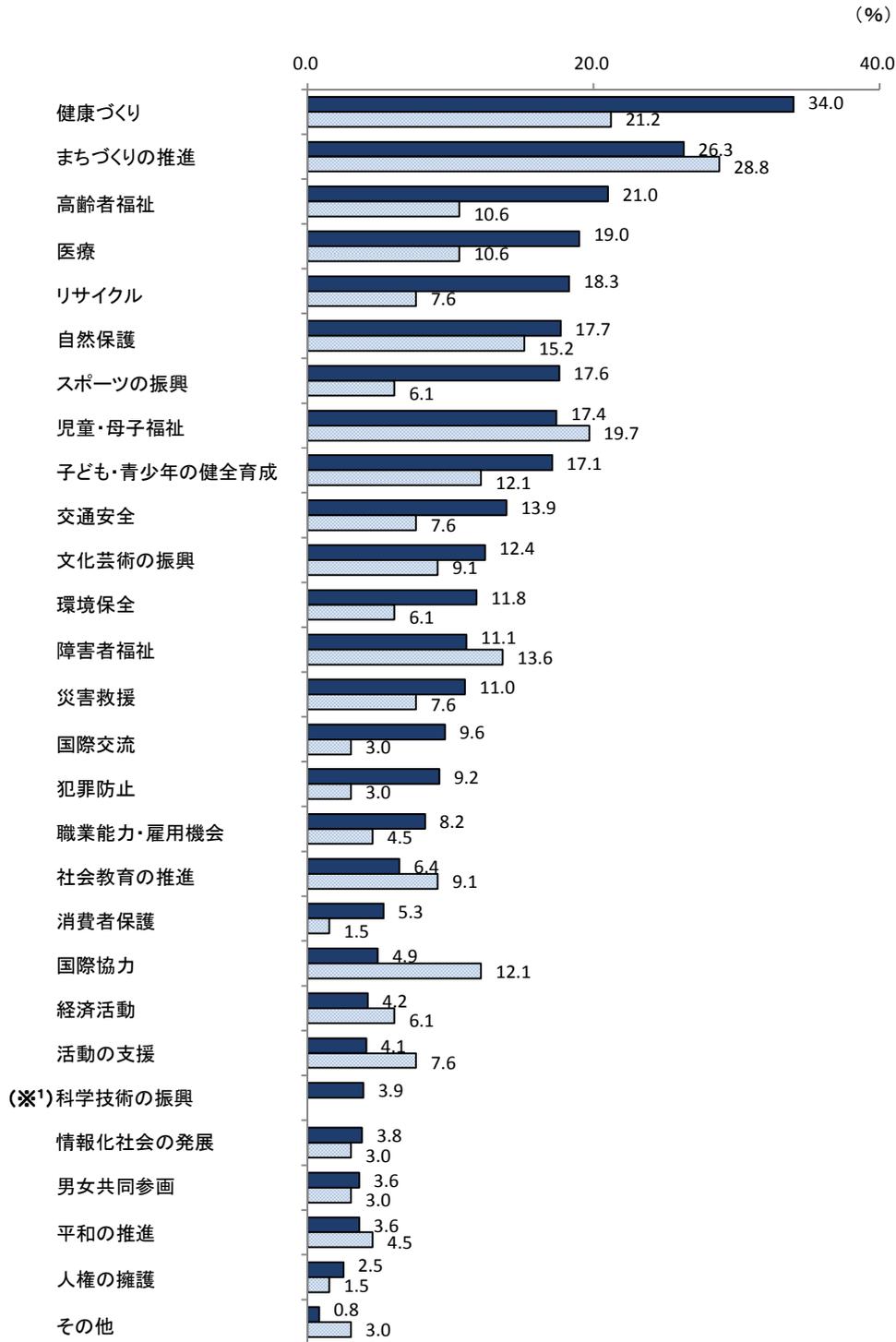
今後、市民活動を希望する分野について、「健康づくり」が 32.3%と最も高い。ついで、「まちづくりの推進」(25.0%)、「高齢者福祉」(20.0%)となっている。

【経年比較】

『今回調査』は『前回調査』に比べて、「健康づくり」が 12.8 ポイント増加している。



【経年比較】



(※²) ■ 今回(平成26年)調査(N=638) □ 前回(平成22年)調査(N=66)

(※¹) は、前回調査に無い項目

(※²) 今回調査は無回答を含まない。

(6) 市民活動に参加しない理由

(問9)《問8で「参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない」または「参加したことはなく、今後も参加するつもりはない」に○印をつけた方にお尋ねします。》

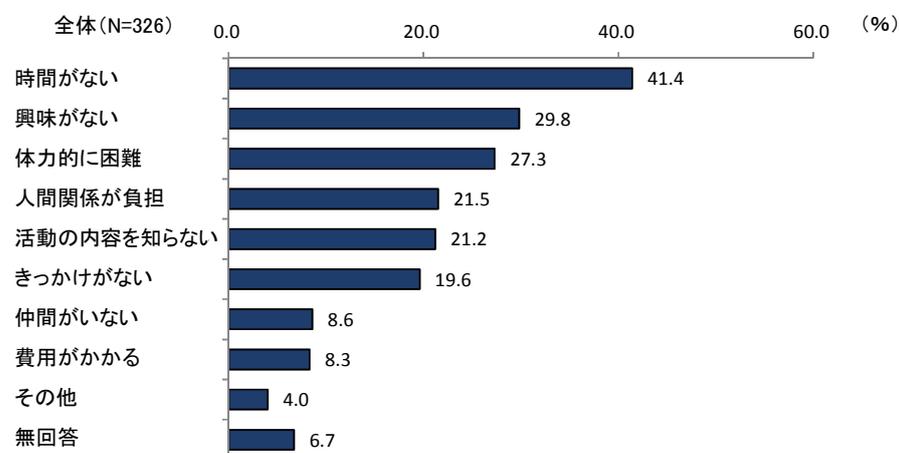
あなたが市民活動に参加しなかった、もしくは今後参加するつもりがない理由は何ですか。

【あてはまるものすべてに○】

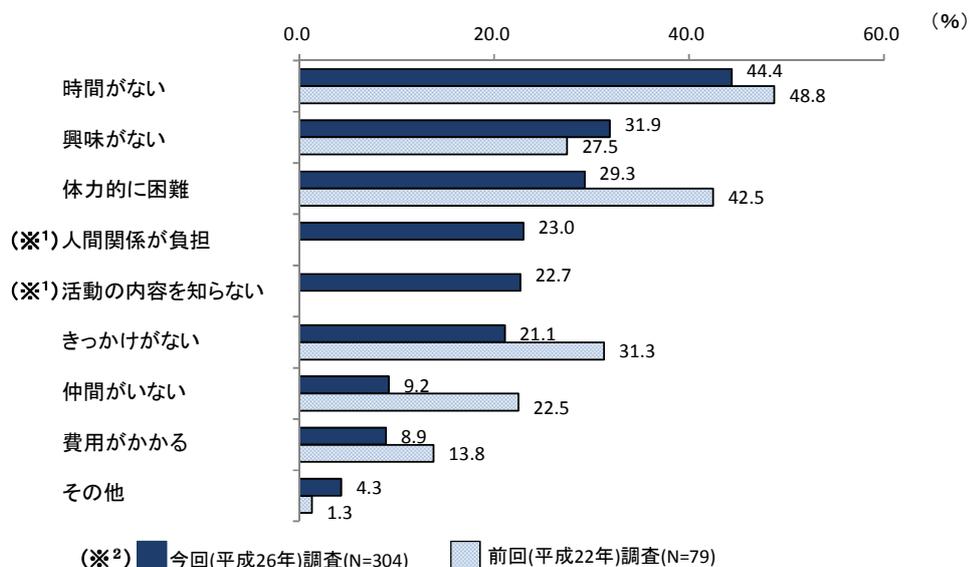
市民活動に参加しない理由について、「時間がない」が41.4%と最も高い。ついで、「興味がない」(29.8%)、「体力的に困難」(27.3%)となっている。

【経年比較】

『今回調査』は『前回調査』に比べて、「仲間がいない」が13.3ポイント、「体力的に困難」が13.2ポイント、「きっかけがない」が10.2ポイント減少している。



【経年比較】



(※¹)は、前回調査に無い項目

(※²)今回調査は無回答を含まない。

市民活動に参加しない理由と市民の特徴との関連性 (P31 表 8 参照)

市民活動に参加しない理由と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「時間がない」が最も高い。

また、『男性』は『女性』に比べて、「興味がない」が 8.0 ポイント多くなっている。

【年齢別】

『70 歳以上』は「体力的に困難」が最も高く、その他の年齢では「時間がない」が最も高い。

他の年齢と比べて、『20 歳代』は「興味がない」(48.8%) が高く、『50 歳代』は「活動の内容を知らない」(35.3%) が高くなっている。

【職業別】

『専業主婦(主夫)』と『無職』は「体力的に困難」が最も高く、その他の職業では、「時間がない」が最も高い。

市民活動に参加しない理由と性別・年齢・職業との関連性 (表 8)

【表 8 性別・年齢・職業別】

		全体	時間がない	興味がない	体力的に困難	人間関係が負担	活動の内容を知らない	きっかけがない	仲間がいない	費用がかかる	その他	無回答
全体		326	135	97	89	70	69	64	28	27	13	22
		100.0%	41.4%	29.8%	27.3%	21.5%	21.2%	19.6%	8.6%	8.3%	4.0%	6.7%
性別	男性	94	43	37	20	18	22	21	10	8	4	5
		100.0%	45.7%	39.4%	21.3%	19.1%	23.4%	22.3%	10.6%	8.5%	4.3%	5.3%
	女性	137	53	43	33	32	30	24	9	9	4	11
		100.0%	38.7%	31.4%	24.1%	23.4%	21.9%	17.5%	6.6%	6.6%	2.9%	8.0%
年齢別	18～19歳(※)	7	2	1	-	-	2	1	1	-	2	-
		100.0%	28.6%	14.3%	-	-	28.6%	14.3%	14.3%	-	28.6%	-
	20歳代	43	27	21	5	11	12	11	6	6	-	2
		100.0%	62.8%	48.8%	11.6%	25.6%	27.9%	25.6%	14.0%	14.0%	-	4.7%
	30歳代	48	26	15	7	14	13	9	5	6	3	2
		100.0%	54.2%	31.3%	14.6%	29.2%	27.1%	18.8%	10.4%	12.5%	6.3%	4.2%
	40歳代	43	27	15	6	7	10	10	6	1	2	2
		100.0%	62.8%	34.9%	14.0%	16.3%	23.3%	23.3%	14.0%	2.3%	4.7%	4.7%
50歳代	51	26	18	12	15	18	11	6	7	2	1	
	100.0%	51.0%	35.3%	23.5%	29.4%	35.3%	21.6%	11.8%	13.7%	3.9%	2.0%	
60歳代	54	19	18	16	16	3	10	2	4	1	3	
	100.0%	35.2%	33.3%	29.6%	29.6%	5.6%	18.5%	3.7%	7.4%	1.9%	5.6%	
70歳以上	78	7	9	43	6	10	11	2	3	3	12	
	100.0%	9.0%	11.5%	55.1%	7.7%	12.8%	14.1%	2.6%	3.8%	3.8%	15.4%	
職業別	会社員	79	54	27	9	15	25	19	9	9	2	3
		100.0%	68.4%	34.2%	11.4%	19.0%	31.6%	24.1%	11.4%	11.4%	2.5%	3.8%
	公務員・団体職員	19	11	9	2	8	3	3	2	2	1	2
		100.0%	57.9%	47.4%	10.5%	42.1%	15.8%	15.8%	10.5%	10.5%	5.3%	10.5%
	自営業・農林水産業	27	13	9	7	2	6	3	1	2	1	1
		100.0%	48.1%	33.3%	25.9%	7.4%	22.2%	11.1%	3.7%	7.4%	3.7%	3.7%
	パート・アルバイト・派遣社員	56	34	22	10	20	15	15	7	7	2	2
		100.0%	60.7%	39.3%	17.9%	35.7%	26.8%	26.8%	12.5%	12.5%	3.6%	3.6%
	専業主婦(主夫)	47	6	13	23	11	8	9	3	1	-	4
		100.0%	12.8%	27.7%	48.9%	23.4%	17.0%	19.1%	6.4%	2.1%	-	8.5%
学生	16	7	5	-	-	5	4	1	-	2	1	
	100.0%	43.8%	31.3%	-	-	31.3%	25.0%	6.3%	-	12.5%	6.3%	
無職	74	6	11	35	11	5	9	4	6	4	9	
	100.0%	8.1%	14.9%	47.3%	14.9%	6.8%	12.2%	5.4%	8.1%	5.4%	12.2%	
その他	3	2	1	1	1	-	1	-	-	1	-	
	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	33.3%	-	33.3%	-	-	33.3%	-	

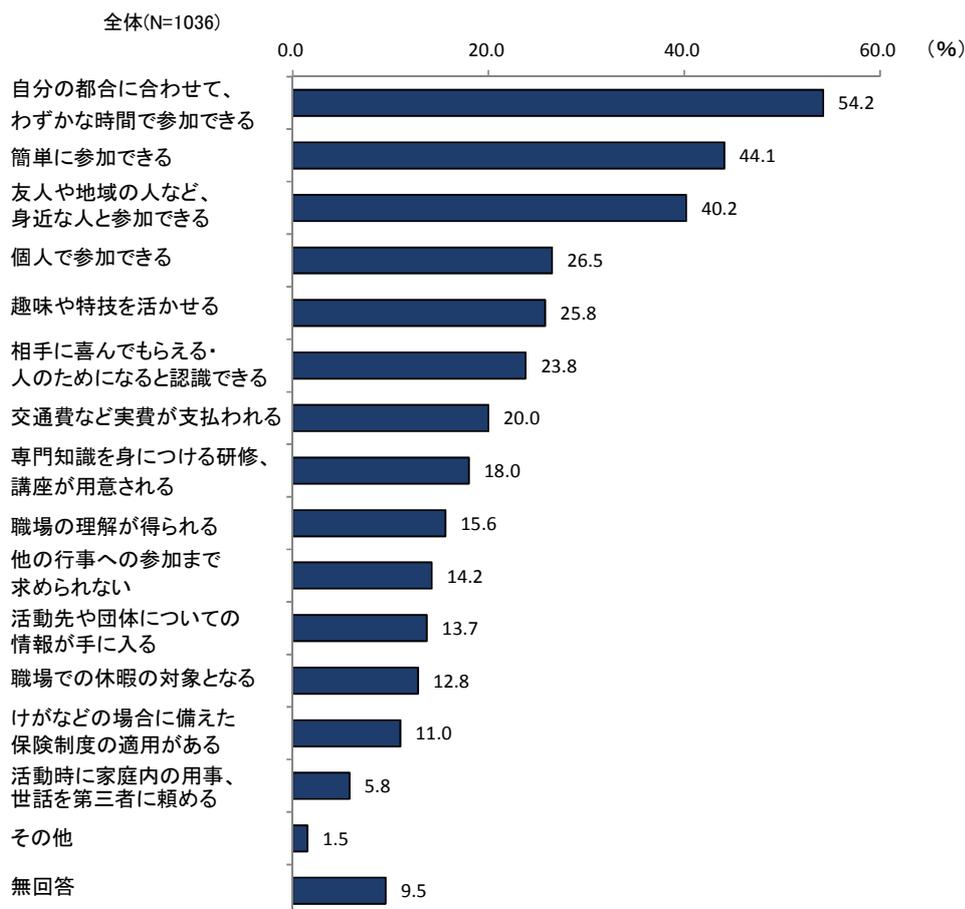
(※) サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

(7) 市民活動に参加できる(しやすい)条件

(問 10)あなたは、どのような条件なら、市民活動に参加できる(参加しやすい)と思いますか。

【あてはまるものすべてに○】

市民活動に参加できる(しやすい)条件について、「自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる」が 54.2%と最も高い。ついで、「簡単に参加できる」(44.1%)、「友人や地域の人など、身近な人と参加できる」(40.2%)となっている。



市民活動に参加できる（しやすい）条件と市民の特徴との関連性 （P34 表 9、P35 表 10 参照）

市民活動に参加できる（しやすい）条件と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【年齢別】

他の年齢と比べて、『20歳代』は「簡単に参加できる」(55.5%)、「友人や地域の人など身近な人と参加できる」(52.9%)が高い。その他の年齢では「自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる」が最も高い。

【職業別】

『学生』は「簡単に参加できる」(54.0%)が最も高く、その他の職業では「自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる」が最も高い。

【市民活動参加経験・今後の参加意向別】

市民活動参加経験・今後の参加意向にかかわらず、「自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる」が最も高い。

市民活動に参加できる（しやすい）条件と年齢・職業との関連性（表9）

【表9 年齢・職業別】

		全体	自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる	簡単に参加できる	友人や地域の人のなど、身近な人と参加できる	個人で参加できる	趣味や特技を活かせる	相手に喜んでもらえる・人のためになると認識できる	交通費など実費が支払われる	専門知識を身につける研修、講座が用意される
全体		1036 100.0%	562 54.2%	457 44.1%	416 40.2%	275 26.5%	267 25.8%	247 23.8%	207 20.0%	186 18.0%
年齢別	18～19歳（※）	21 100.0%	10 47.6%	11 52.4%	7 33.3%	2 9.5%	11 52.4%	7 33.3%	6 28.6%	4 19.0%
	20歳代	119 100.0%	53 44.5%	66 55.5%	63 52.9%	17 14.3%	39 32.8%	28 23.5%	34 28.6%	24 20.2%
	30歳代	166 100.0%	98 59.0%	85 51.2%	76 45.8%	39 23.5%	49 29.5%	45 27.1%	51 30.7%	33 19.9%
	40歳代	162 100.0%	105 64.8%	89 54.9%	68 42.0%	46 28.4%	41 25.3%	34 21.0%	32 19.8%	37 22.8%
	50歳代	181 100.0%	109 60.2%	83 45.9%	67 37.0%	54 29.8%	41 22.7%	43 23.8%	36 19.9%	39 21.5%
	60歳代	198 100.0%	113 57.1%	70 35.4%	70 35.4%	73 36.9%	56 28.3%	45 22.7%	28 14.1%	29 14.6%
	70歳以上	180 100.0%	69 38.3%	46 25.6%	64 35.6%	41 22.8%	26 14.4%	44 24.4%	19 10.6%	16 8.9%
	職業別	会社員	269 100.0%	148 55.0%	127 47.2%	112 41.6%	78 29.0%	66 24.5%	60 22.3%	72 26.8%
公務員・団体職員		73 100.0%	43 58.9%	36 49.3%	25 34.2%	20 27.4%	20 27.4%	18 24.7%	10 13.7%	15 20.5%
自営業・農林水産業		105 100.0%	56 53.3%	45 42.9%	38 36.2%	26 24.8%	27 25.7%	24 22.9%	12 11.4%	18 17.1%
パート・アルバイト・派遣社員		159 100.0%	110 69.2%	76 47.8%	69 43.4%	37 23.3%	40 25.2%	39 24.5%	43 27.0%	29 18.2%
専業主婦(主夫)		170 100.0%	95 55.9%	75 44.1%	83 48.8%	49 28.8%	47 27.6%	38 22.4%	26 15.3%	28 16.5%
学生		50 100.0%	20 40.0%	27 54.0%	22 44.0%	8 16.0%	22 44.0%	16 32.0%	14 28.0%	7 14.0%
無職		175 100.0%	73 41.7%	56 32.0%	55 31.4%	48 27.4%	33 18.9%	44 25.1%	25 14.3%	14 8.0%
その他		23 100.0%	14 60.9%	10 43.5%	11 47.8%	5 21.7%	7 30.4%	4 17.4%	3 13.0%	5 21.7%
		全体	職場の理解が得られる	他の行事への参加まで求められない	活動先や団体についての情報が手に入る	職場での休暇の対象となる	けがなどの場合に備えた保険制度の適用がある	活動時に家庭内の用事、世話を第三者に頼める	その他	無回答
全体		1036 100.0%	162 15.6%	147 14.2%	142 13.7%	133 12.8%	114 11.0%	60 5.8%	16 1.5%	98 9.5%
年齢別	18～19歳（※）	21 100.0%	3 14.3%	3 14.3%	1 4.8%	3 14.3%	3 14.3%	1 4.8%	1 4.8%	1 4.8%
	20歳代	119 100.0%	33 27.7%	18 15.1%	17 14.3%	36 30.3%	13 10.9%	6 5.0%	2 1.7%	5 4.2%
	30歳代	166 100.0%	50 30.1%	30 18.1%	26 15.7%	43 25.9%	19 11.4%	25 15.1%	3 1.8%	7 4.2%
	40歳代	162 100.0%	35 21.6%	18 11.1%	19 11.7%	25 15.4%	14 8.6%	13 8.0%	3 1.9%	9 5.6%
	50歳代	181 100.0%	34 18.8%	31 17.1%	31 17.1%	23 12.7%	25 13.8%	8 4.4%	1 0.6%	11 6.1%
	60歳代	198 100.0%	4 2.0%	30 15.2%	30 15.2%	2 1.0%	24 12.1%	6 3.0%	2 1.0%	20 10.1%
	70歳以上	180 100.0%	-	14 7.8%	16 8.9%	-	15 8.3%	-	4 2.2%	44 24.4%
	職業別	会社員	269 100.0%	85 31.6%	37 13.8%	40 14.9%	70 26.0%	31 11.5%	14 5.2%	2 0.7%
公務員・団体職員		73 100.0%	17 23.3%	12 16.4%	15 20.5%	16 21.9%	7 9.6%	9 12.3%	-	6 8.2%
自営業・農林水産業		105 100.0%	8 7.6%	15 14.3%	14 13.3%	5 4.8%	12 11.4%	4 3.8%	1 1.0%	8 7.6%
パート・アルバイト・派遣社員		159 100.0%	24 15.1%	26 16.4%	13 8.2%	19 11.9%	17 10.7%	12 7.5%	4 2.5%	5 3.1%
専業主婦(主夫)		170 100.0%	8 4.7%	25 14.7%	27 15.9%	3 1.8%	16 9.4%	14 8.2%	2 1.2%	21 12.4%
学生		50 100.0%	8 16.0%	9 18.0%	6 12.0%	13 26.0%	7 14.0%	2 4.0%	1 2.0%	2 4.0%
無職		175 100.0%	5 2.9%	18 10.3%	19 10.9%	3 1.7%	20 11.4%	4 2.3%	5 2.9%	33 18.9%
その他		23 100.0%	3 13.0%	2 8.7%	5 21.7%	3 13.0%	2 8.7%	1 4.3%	1 4.3%	4 17.4%

（※）サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

市民活動に参加できる（しやすい）条件と市民活動参加経験・今後の参加意向との関連性（表 10）

【表 10 市民活動参加経験・今後の参加意向別】

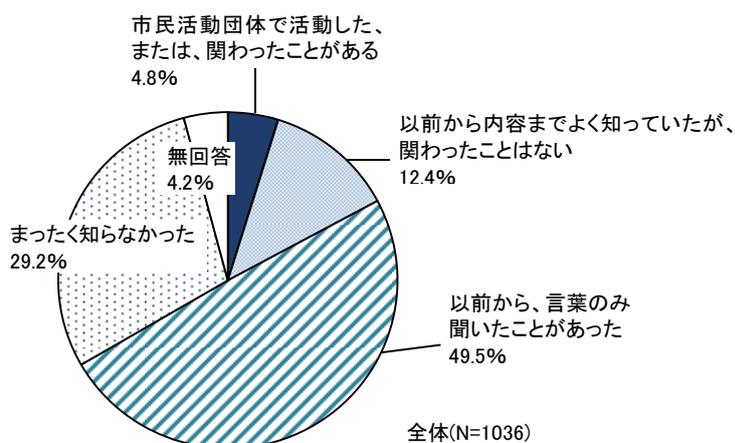
		全体	自分の都合に合わせて、わずかな時間で参加できる	簡単に参加できる	友人や地域の人の人など、身近な人と参加できる	個人で参加できる	趣味や特技を活かせる	相手に喜んでもらえる・人のためになると認識できる	交通費など実費が支払われる	専門知識を身につける研修、講座が用意される
全体		1036 100.0%	562 54.2%	457 44.1%	416 40.2%	275 26.5%	267 25.8%	247 23.8%	207 20.0%	186 18.0%
市民活動参加経験・今後の参加意向別	①参加したことがあり、今後も参加したい	239 100.0%	155 64.9%	124 51.9%	133 55.6%	78 32.6%	77 32.2%	65 27.2%	43 18.0%	47 19.7%
	②参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない	53 100.0%	20 37.7%	19 35.8%	17 32.1%	8 15.1%	10 18.9%	7 13.2%	11 20.8%	4 7.5%
	③参加したことはないが、今後機会があれば参加したい	432 100.0%	278 64.4%	216 50.0%	190 44.0%	148 34.3%	146 33.8%	132 30.6%	85 19.7%	100 23.1%
	④参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	273 100.0%	98 35.9%	86 31.5%	66 24.2%	35 12.8%	27 9.9%	37 13.6%	64 23.4%	32 11.7%
全体		1036 100.0%	162 15.6%	147 14.2%	142 13.7%	133 12.8%	114 11.0%	60 5.8%	16 1.5%	98 9.5%
市民活動参加経験・今後の参加意向別	①参加したことがあり、今後も参加したい	239 100.0%	41 17.2%	28 11.7%	55 23.0%	30 12.6%	33 13.8%	18 7.5%	-	12 5.0%
	②参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない	53 100.0%	6 11.3%	7 13.2%	4 7.5%	7 13.2%	4 7.5%	1 1.9%	1 1.9%	8 15.1%
	③参加したことはないが、今後機会があれば参加したい	432 100.0%	80 18.5%	53 12.3%	59 13.7%	60 13.9%	49 11.3%	30 6.9%	5 1.2%	11 2.5%
	④参加したことはなく、今後も参加するつもりはない	273 100.0%	31 11.4%	57 20.9%	21 7.7%	34 12.5%	23 8.4%	10 3.7%	8 2.9%	50 18.3%

5. 市民活動団体について

(1) 「市民活動団体（NPO法人を含む）」の認知度

(問 11)あなたは、下関市内の「市民活動団体(NPO法人を含む)」を知っていますか。または「市民活動団体(NPO法人を含む)」に関わったことがありますか。【あてはまるもの1つに○】

「市民活動団体(NPO法人を含む)」の認知度について、「以前から、言葉のみ聞いたことがあった」が49.5%と最も高い。ついで、「まったく知らなかった」(29.2%)、「以前から内容までよく知っていたが、関わったことはない」(12.4%)となっている。



「市民活動団体（NPO法人を含む）」の認知度と市民の特徴との関連性 (P37 図8参照)

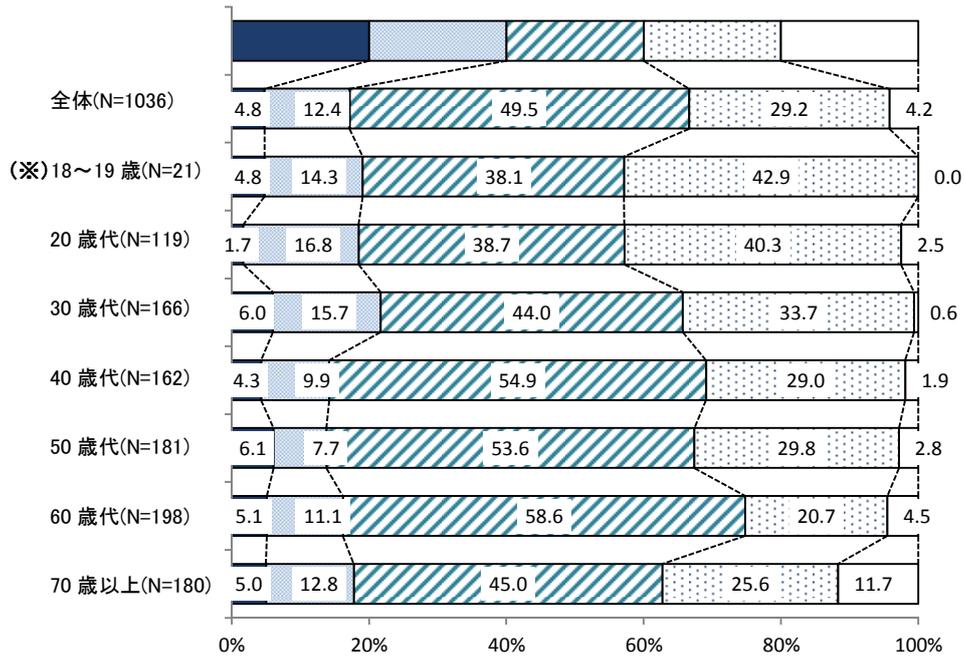
「市民活動団体(NPO法人を含む)」の認知度と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【年齢別】

『20歳代』は「まったく知らなかった」が最も高く、その他の年齢では「以前から、言葉のみ聞いたことがあった」が最も高い。

「市民活動団体（NPO法人を含む）」の認知度と性別・年齢との関連性（図8）

【図8 性別・年齢別】



※サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

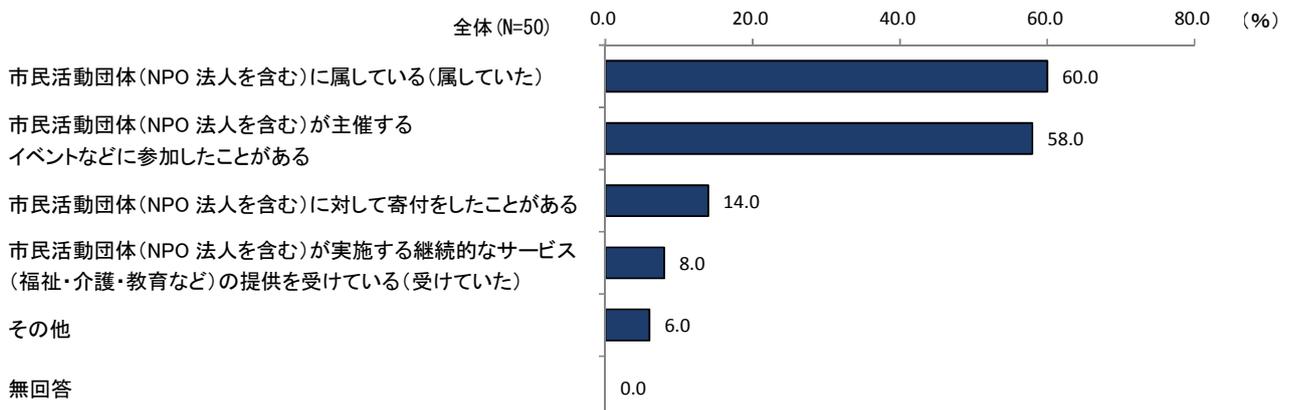
- 市民活動団体で活動した、または、関わったことがある
- 以前から内容までよく知っていたが、関わったことはない
- 以前から、言葉のみ聞いたことがあった
- まったく知らなかった
- 無回答

(2) 「市民活動団体（NPO法人を含む）」との関わり

(問11-1)《問11で「市民活動団体で活動した、または、関わったことがある」に○印をつけた方にお尋ねします。》

あなたは、下関市内の「市民活動団体(NPO法人を含む)」と、どのような形で関わったことがありますか。【あてはまるものすべてに○】

「市民活動団体(NPO法人を含む)」について、「市民活動団体(NPO法人を含む)に属している(属していた)」が60.0%と最も高い。ついで、「市民活動団体(NPO法人を含む)が主催するイベントなどに参加したことがある」(58.0%)、「市民活動団体(NPO法人を含む)に対して寄付をしたことがある」(14.0%)となっている。

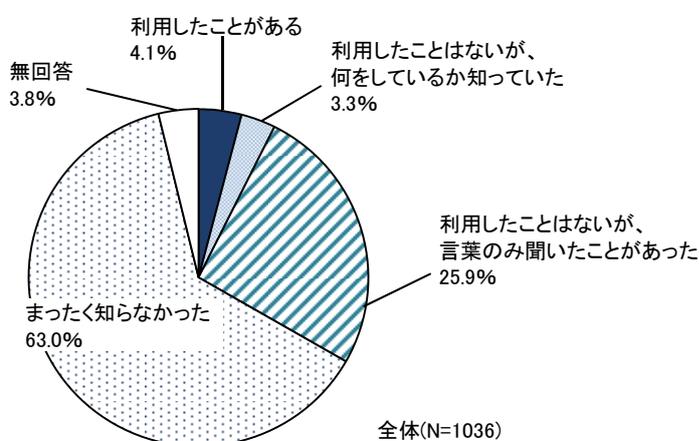


6. しものせき市民活動センターについて

(1) 「しものせき市民活動センター」の利用および認知度

(問 12)あなたは、「しものせき市民活動センター」を利用したことがありますか。もしくは、知っていましたか。【あてはまるもの1つに○】

「しものせき市民活動センター」の利用および認知度について、「まったく知らなかった」が63.0%と最も高い。ついで、「利用したことはないが、言葉のみ聞いたことがあった」(25.9%)、「利用したことがある」(4.1%)となっている。



「しものせき市民活動センター」の利用および認知度と市民の特徴との関連性 (P39 図9・10 参照)

「しものせき市民活動センター」の利用および認知度と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【年齢別】

年齢にかかわらず、「まったく知らなかった」が最も高く、『20歳代』が75.6%、『30歳代』が77.1%と若い世代ほど認知度が低くなっている。

【居住地区別】

居住地区にかかわらず、「まったく知らなかった」が最も高い。

特に、『菊川・豊田・豊浦・豊北地域』(70.2%)、『長府・王司・清末・小月・王喜・吉田地区』(66.5%)、『川中・安岡・吉見・勝山・内日地区』(68.4%)で「まったく知らなかった」が6割以上と高くなっている。

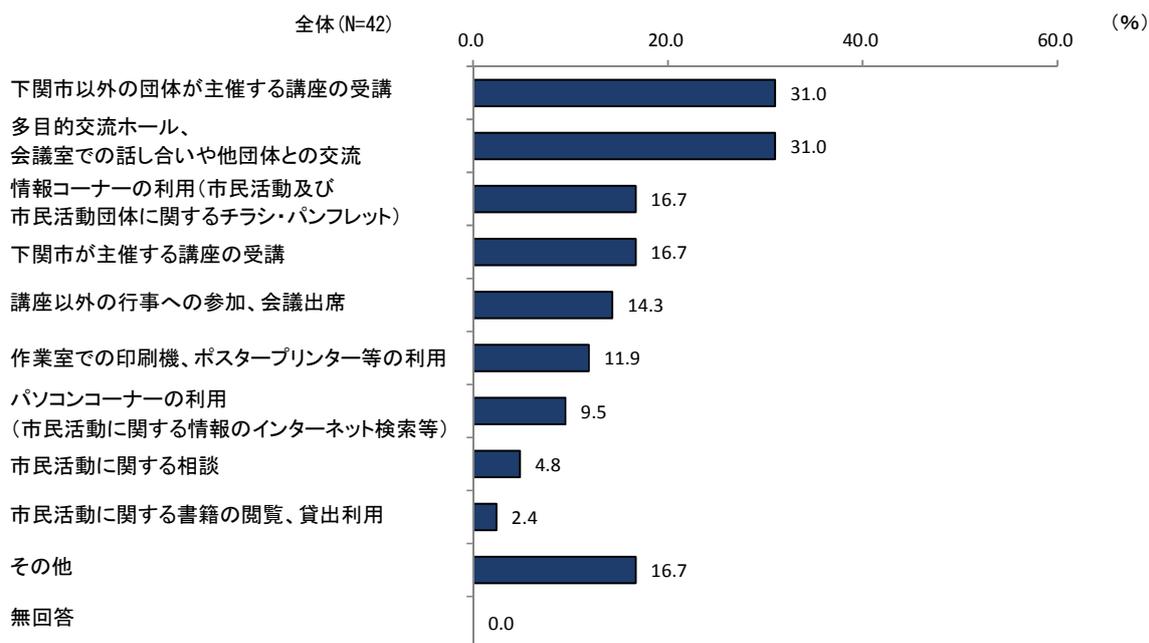
(2) しものせき市民活動センターの利用目的

(問 12-1)《問 12 で「利用したことがある」に○印をつけた方にお尋ねします。》

あなたは、しものせき市民活動センターをどのようなことで利用したことがありますか。

【あてはまるものすべてに○】

しものせき市民活動センターの利用目的について、「下関市以外の団体が主催する講座の受講」、「多目的交流ホール、会議室での話し合いや他団体との交流」がともに 31.0%と最も高い。ついで、「情報コーナーの利用(市民活動及び市民活動団体に関するチラシ・パンフレット)」、「下関市が主催する講座の受講」(ともに 16.7%)、「講座以外の行事への参加、会議出席」(14.3%)となっている。

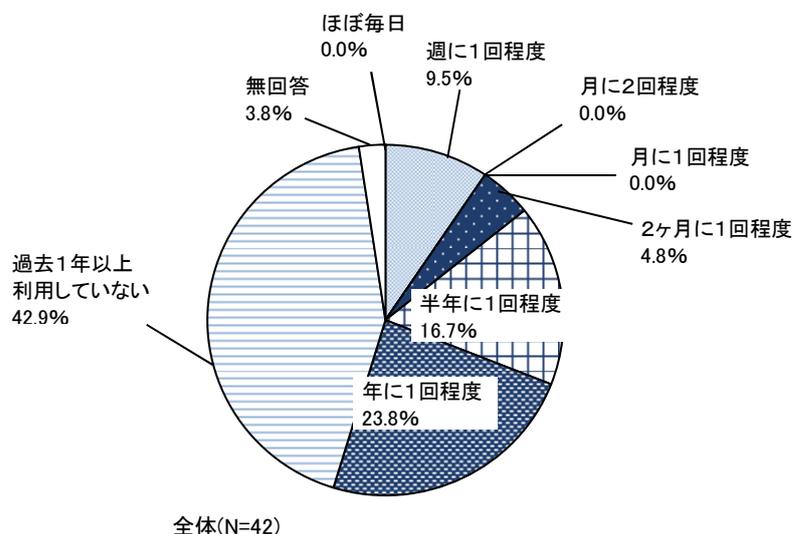


(3) しものせき市民活動センターの利用頻度

(問 12-2)あなたは、しものせき市民活動センターをどのくらいの頻度で利用したことがありますか。

【あてはまるもの1つに○】

しものせき市民活動センターの利用頻度について、「過去1年以上利用していない」が 42.9%と最も高い。ついで、「年に1回程度」(23.8%)、「半年に1回程度」(16.7%)となっている。



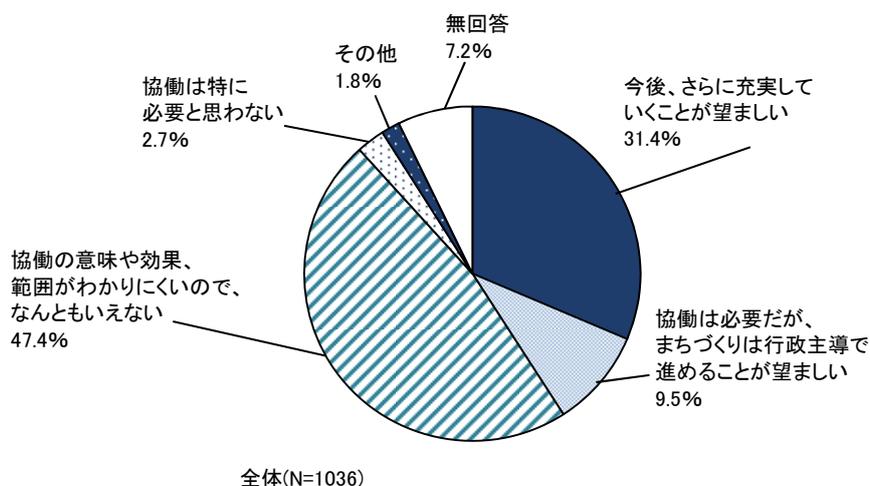
7. 協働のまちづくりについて

(1) 市民と行政の協働によるまちづくりへの考え

(問 13) あなたは、市民と行政の協働によるまちづくりについてどのように考えますか。

【あてはまるもの1つに○】

市民と行政の協働によるまちづくりへの考えについて、「協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」が 47.4%と最も高い。ついで、「今後、さらに充実していくことが望ましい」(31.4%)、「協働は必要だが、まちづくりは行政主導で進めることが望ましい」(9.5%)となっている。



市民と行政の協働によるまちづくりへの考えと市民の特徴との関連性

(P42 図 11・12 参照)

市民と行政の協働によるまちづくりへの考えと市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」が最も高い。

【年齢別】

年齢にかかわらず、「協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」が最も高く、特に『50歳代』(51.9%)は5割を超えている。

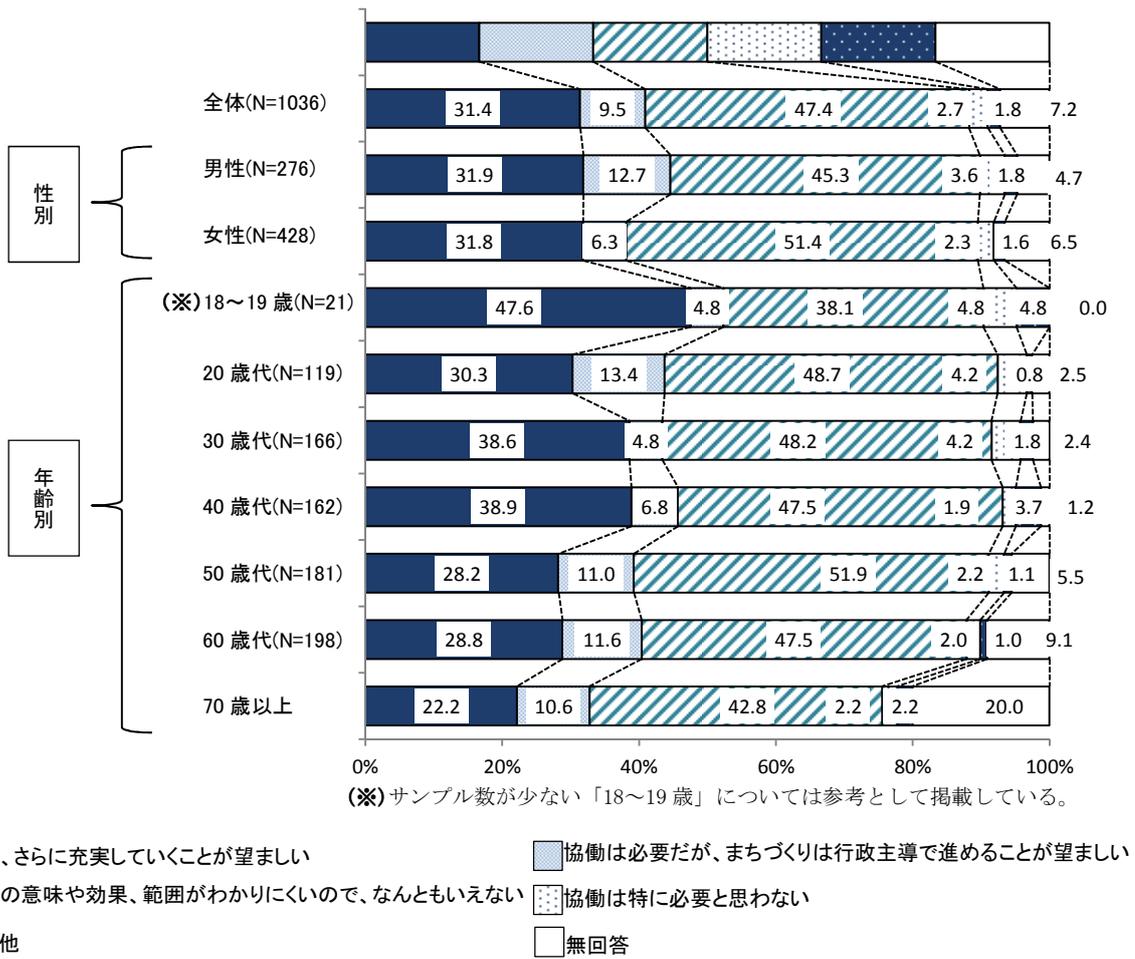
【市民活動参加経験・今後の参加意向別】

『①参加したことがあり、今後も参加したい』と回答した市民では「今後、さらに充実していくことが望ましい」が最も高い。

また、『④参加したことはなく、今後も参加するつもりはない』と回答した市民では「協働の意味や効果、範囲がわかりにくいので、なんともいえない」(54.9%)が5割を超えている。

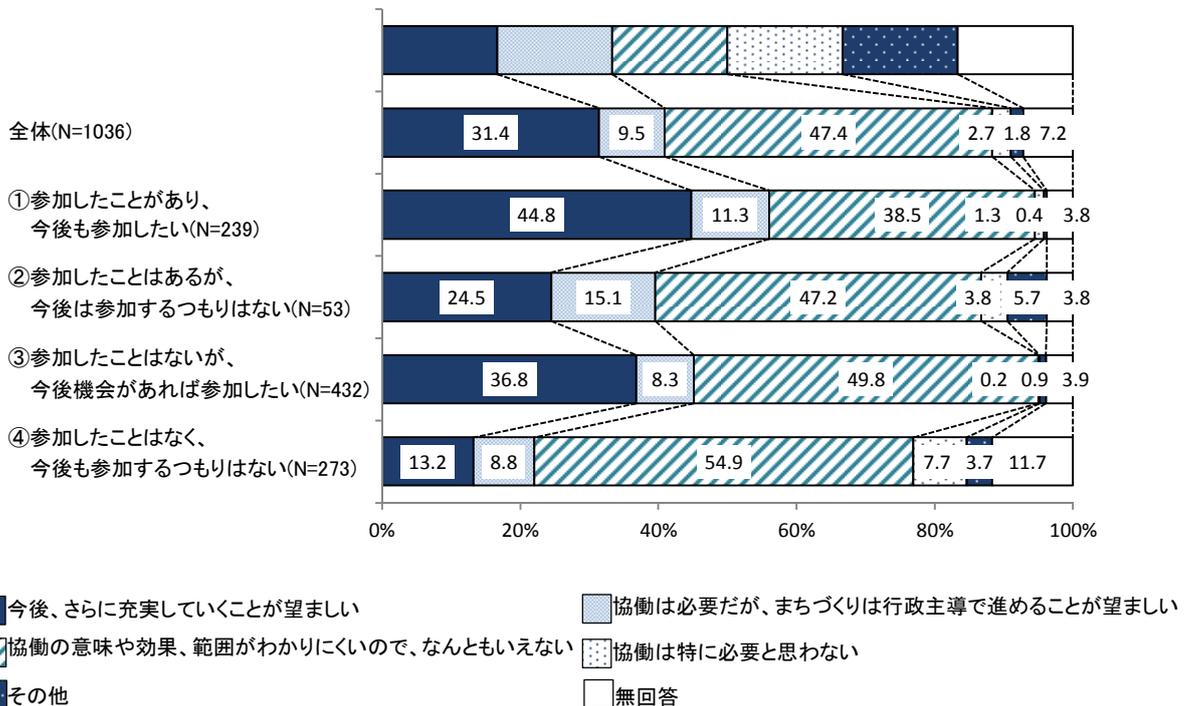
市民と行政の協働によるまちづくりへの考えと性別・年齢との関連性 (図 11)

【図 11 性別・年齢別】



市民と行政の協働によるまちづくりへの考えと市民活動参加経験・今後の参加意向との関連性 (図 12)

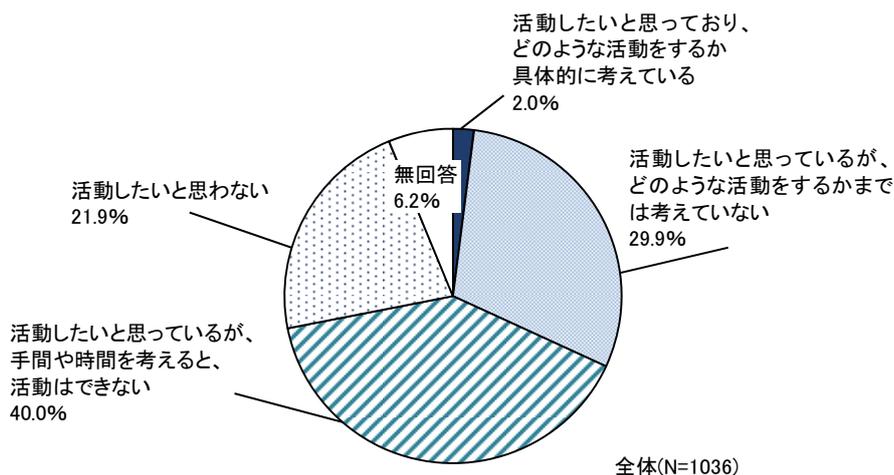
【図 12 市民活動参加経験・今後の参加意向別】



(2) 「協働」のまちづくり活動への意向

(問 14)あなたは、今後、自分のもつ知識や経験、時間的ゆとりをいかして「協働」のまちづくりに向けた活動をしたいと思えますか。【あてはまるもの1つに○】

「協働」のまちづくり活動への意向について、「活動したいと思っているが、手間や時間を考えると、活動はできない」が 40.0%と最も高い。ついで、「活動したいと思っているが、どのような活動をするかまでは考えていない」(29.9%)、「活動したいと思わない」(21.9%)となっている。



「協働」のまちづくり活動への意向と市民の特徴との関連性

(P44 図 13・14、P45 図 15 参照)

「協働」のまちづくり活動への意向と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【性別】

性別にかかわらず、「活動したいと思っているが、手間や時間を考えると、活動はできない」が最も高い。

【年齢別】

『60 歳代』、『70 歳以上』を除いて、「活動したいと思っているが、手間や時間を考えると、活動はできない」がどの世代も高い。

【市民活動参加経験・今後の参加意向別】

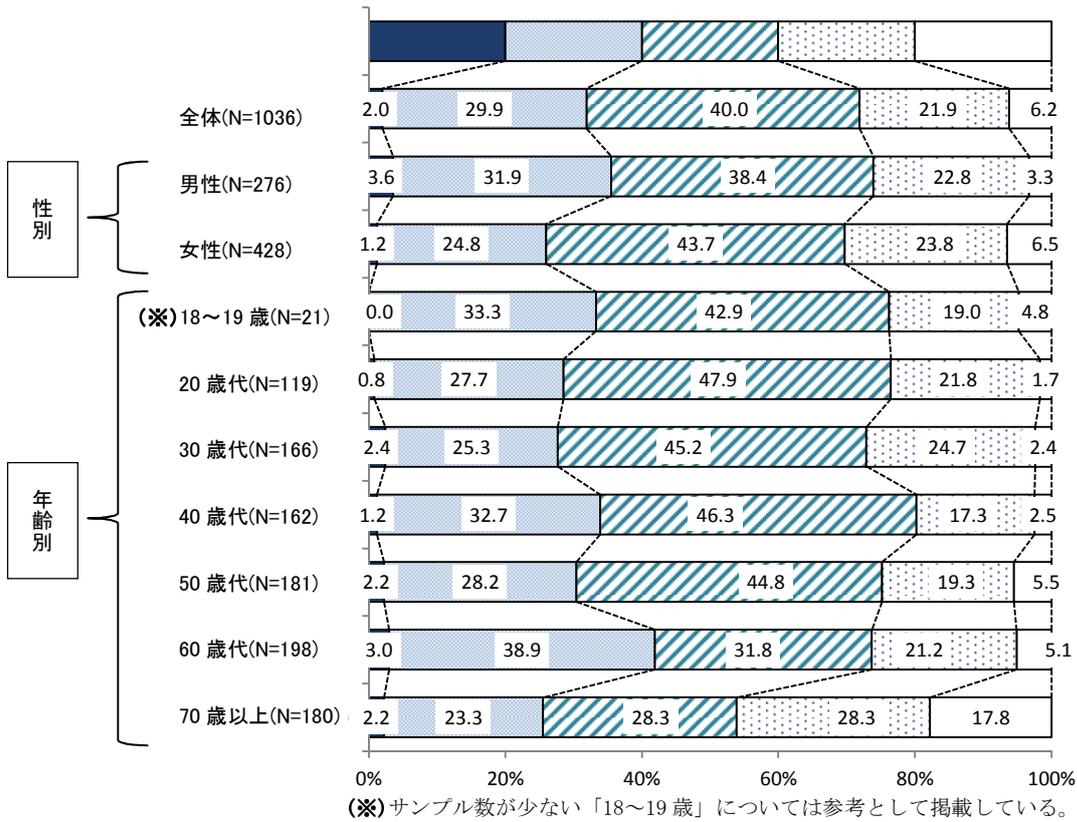
今後、市民活動に参加したいと回答した市民(①と③に該当)においても、「どのような活動をするか具体的に考えている」と回答した市民の割合は低い。

【市民の市政参画への認識(重要度)別】

『重要でないと認識』と回答した市民は「活動したいと思わない」(55.3%)が 5 割を超えている。また、『重要と認識』と回答した市民は、「活動したいと思っているが、手間や時間を考えると、活動はできない」(40.3%)が最も高い。

「協働」のまちづくり活動への意向と性別・年齢との関連性（図13）

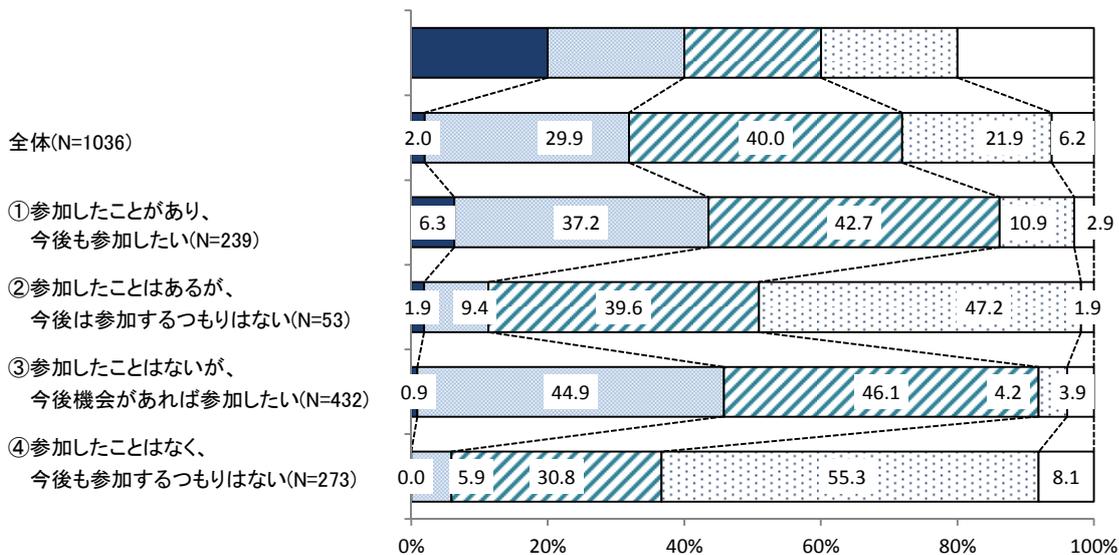
【図13 性別・年齢別】



- 活動したいと思っており、どのような活動をするか具体的に考えている
- 活動したいと思っているが、どのような活動をするかまでは考えていない
- ▨ 活動したいと思っているが、手間や時間を考えると、活動はできない
- ▨ 活動したいと思わない
- 無回答

「協働」のまちづくり活動への意向と市民活動参加経験・今後の参加意向との関連性（図14）

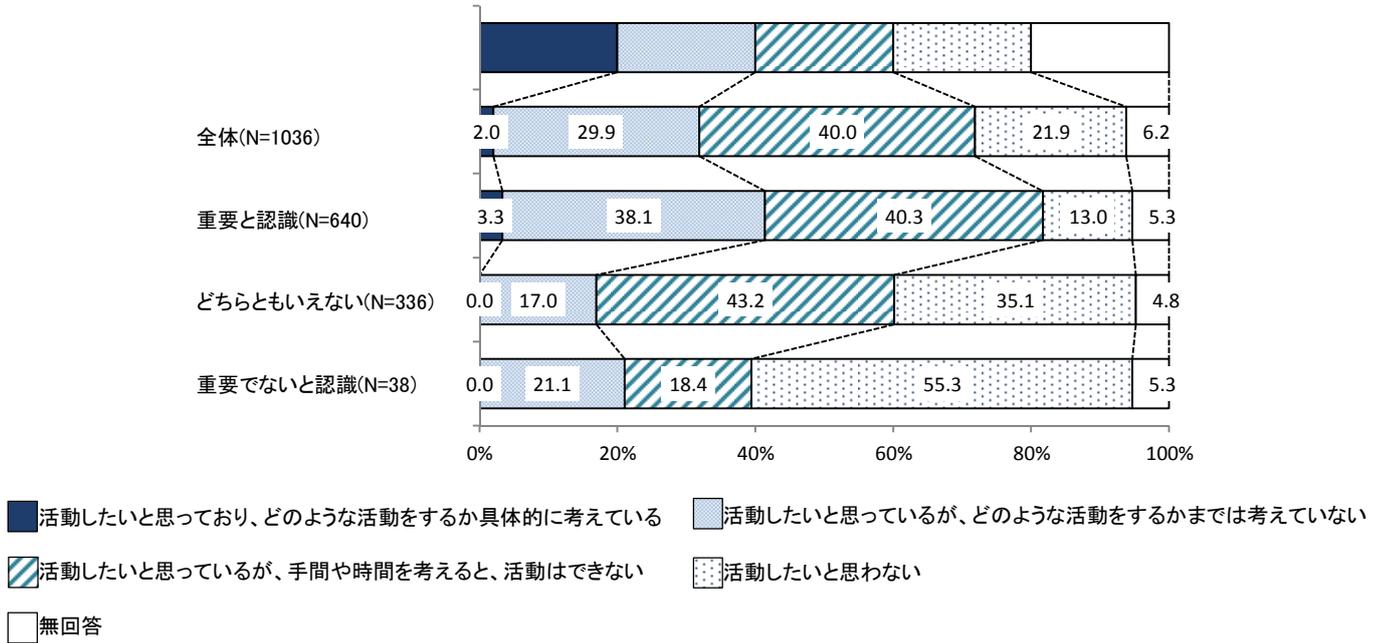
【図14 市民活動参加経験・今後の参加意向別】



- 活動したいと思っており、どのような活動をするか具体的に考えている
- 活動したいと思っているが、どのような活動をするかまでは考えていない
- ▨ 活動したいと思っているが、手間や時間を考えると、活動はできない
- ▨ 活動したいと思わない
- 無回答

「協働」のまちづくり活動への意向と市民の市政参画への認識（重要度）との関連性（図 15）

【図 15 市民の市政参画への認識（重要度）別】

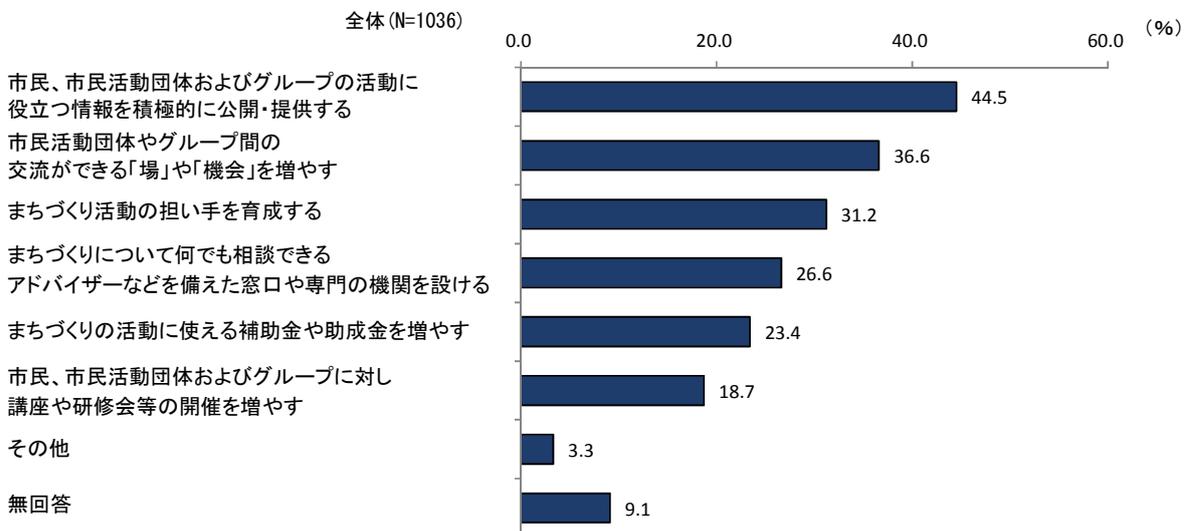


（3）「協働」のまちづくり推進のために行政がすべきこと

（問 15）《あなたは、「協働」によるまちづくりの推進について、市民及び市民活動団体と下関市が、それぞれの役割を果たすために、どのようなことをすればよいと思いますか。》

下関市は、どのようなことをすればよいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「協働」のまちづくり推進のために行政がすべきことについて、「市民、市民活動団体およびグループの活動に役立つ情報を積極的に公開・提供する」が 44.5%と最も高い。ついで、「市民活動団体やグループ間の交流ができる「場」や「機会」を増やす」(36.6%)、「まちづくり活動の担い手を育成する」(31.2%)となっている。



「協働」のまちづくり推進のために行政がすべきことと市民の特徴との関連性
(P46 表 11 参照)

「協働」のまちづくり活動への意向と市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【年齢別】

『30 歳代』(52.4%)と『40 歳代』(50.0%)は「市民、市民活動団体およびグループの活動に役立つ情報を積極的に公開・提供する」が 5 割を超えている。『60 歳代』(36.9%)と『70 歳以上』(38.9%)は「まちづくり活動の担い手を育成する」が他の年齢と比べて高くなっている。

【居住地区別】

居住地区にかかわらず、「市民、市民活動団体およびグループの活動に役立つ情報を積極的に公開・提供する」が最も高い。

【市民活動参加経験・今後の参加意向別】

参加経験・今後の参加意向にかかわらず、「市民、市民活動団体およびグループの活動に役立つ情報を積極的に公開・提供する」が最も高い。

『③参加したことはないが、今後機会があれば参加したい』と回答した市民は「まちづくりについて何でも相談できるアドバイザーなどを備えた窓口や専門の機関を設ける」(33.3%)が他の市民に比べて高くなっている。

「協働」のまちづくり推進のために行政がすべきことと年齢・居住地区との関連性 (表 11)

【表 11 年齢・居住地区別】

	全体	市民、市民活動団体およびグループの活動に役立つ情報を積極的に公開・提供する	市民活動団体やグループ間の交流ができる「場」や「機会」を増やす	まちづくり活動の担い手を育成する	まちづくりについて何でも相談できるアドバイザーなどを備えた窓口や専門の機関を設ける	まちづくりの活動に使える補助金や助成金を増やす	市民、市民活動団体およびグループに対し講座や研修会等の開催を増やす	その他	無回答	
全体	1036 100.0%	461 44.5%	379 36.6%	323 31.2%	276 26.6%	242 23.4%	194 18.7%	34 3.3%	94 9.1%	
年齢別	18～19歳(※)	21 100.0%	8 38.1%	11 52.4%	5 23.8%	3 14.3%	5 23.8%	3 14.3%	—	
	20歳代	119 100.0%	52 43.7%	50 42.0%	30 25.2%	29 24.4%	38 31.9%	18 15.1%	7 5.9%	5 4.2%
	30歳代	166 100.0%	87 52.4%	77 46.4%	54 32.5%	53 31.9%	51 30.7%	38 22.9%	3 1.8%	6 3.6%
	40歳代	162 100.0%	81 50.0%	66 40.7%	43 26.5%	51 31.5%	35 21.6%	25 15.4%	7 4.3%	6 3.7%
	50歳代	181 100.0%	83 45.9%	57 31.5%	44 24.3%	42 23.2%	44 24.3%	39 21.5%	7 3.9%	14 7.7%
	60歳代	198 100.0%	92 46.5%	71 35.9%	73 36.9%	48 24.2%	42 21.2%	44 22.2%	—	19 9.6%
	70歳以上	180 100.0%	52 28.9%	45 25.0%	70 38.9%	48 26.7%	22 12.2%	25 13.9%	6 3.3%	44 24.4%
	居住地区別	旧市内 (12支所、4総合支所以外)	275 100.0%	123 44.7%	115 41.8%	93 33.8%	76 27.6%	75 27.3%	54 19.6%	9 3.3%
彦島地区		95 100.0%	37 38.9%	30 31.6%	30 31.6%	31 32.6%	20 21.1%	18 18.9%	2 2.1%	10 10.5%
川中・安岡・吉見・勝山・ 内日地区		247 100.0%	121 49.0%	99 40.1%	61 24.7%	62 25.1%	52 21.1%	53 21.5%	9 3.6%	20 8.1%
長府・王司・清末・小月・ 王喜・吉田地区		215 100.0%	108 50.2%	78 36.3%	70 32.6%	58 27.0%	46 21.4%	32 14.9%	5 2.3%	17 7.9%
菊川・豊田・豊浦・豊北地区		181 100.0%	62 34.3%	51 28.2%	60 33.1%	45 24.9%	42 23.2%	33 18.2%	8 4.4%	18 9.9%
その他		14 100.0%	5 35.7%	4 28.6%	6 42.9%	2 14.3%	3 21.4%	2 14.3%	—	1 7.1%
市民活動 参加経験・ 今後の 参加意向別		①参加したことがあり、 今後も参加したい	239 100.0%	130 54.4%	111 46.4%	88 36.8%	59 24.7%	66 27.6%	55 23.0%	11 4.6%
	②参加したことはあるが、 今後は参加するつもりはない	53 100.0%	22 41.5%	17 32.1%	17 32.1%	11 20.8%	11 20.8%	9 17.0%	5 9.4%	3 5.7%
	③参加したことはないが、 今後機会があれば参加したい	432 100.0%	201 46.5%	186 43.1%	137 31.7%	144 33.3%	109 25.2%	105 24.3%	6 1.4%	20 4.6%
	④参加したことはない、 今後も参加するつもりはない	273 100.0%	96 35.2%	59 21.6%	71 26.0%	55 20.1%	47 17.2%	23 8.4%	11 4.0%	49 17.9%

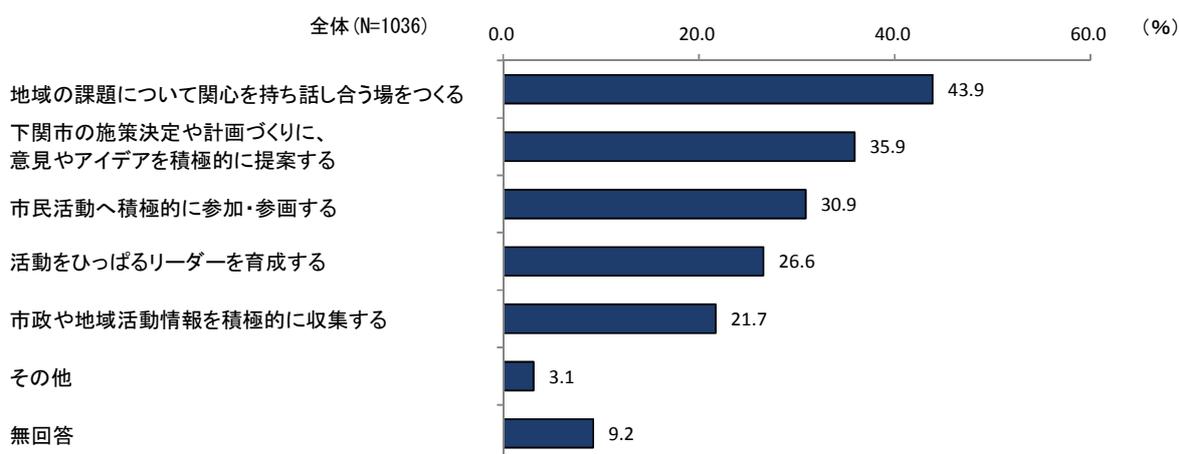
(※) サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

(4) 「協働」のまちづくり推進のために市民がすべきこと

(問 16)《あなたは、「協働」によるまちづくりの推進について、市民及び市民活動団体と下関市が、それぞれの役割を果たすために、どのようなことをすればよいと思いますか。》

市民は、どのようなことをすればよいと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

「協働」のまちづくり推進のために市民がすべきことについて、「地域の課題について関心を持ち話し合う場をつくる」が 43.9%と最も高い。ついで、「下関市の施策決定や計画づくりに、意見やアイデアを積極的に提案する」(35.9%)、「市民活動へ積極的に参加・参画する」(30.9%)となっている。



「協働」のまちづくり推進のために市民がすべきことと市民の特徴との関連性 (P48 表 12 参照)

「協働」のまちづくり推進のために市民がすべきことと市民の特徴との関連性について、調査結果は以下の通りである。

【年齢別】

『40 歳代』は「下関市の施策決定や計画づくりに、意見やアイデアを積極的に提案する」(45.7%)が最も高く、その他の年齢では「地域の課題について関心を持ち話し合う場をつくる」が最も高い。

【市民の市政参画への認識（重要度）別】

市民の市政参画への認識(重要度)にかかわらず、「地域の課題について関心を持ち話し合う場をつくる」が最も高い。

また、『重要と認識』と回答した市民は『重要でないと認識』と回答した市民に比べて、「市民活動へ積極的に参加・参画する」が 22.8 ポイント多くなっている。

「協働」のまちづくり推進のために市民がすべきことと性別・年齢・市民活動参加経験・今後の参加意向・市民の市政参画への認識（重要度）との関連性（表 12）

【表 12 性別・年齢・市民活動参加経験・今後の参加意向・市民の市政参画への認識（重要度）別】

		全体	地域の課題について関心を持ち話し合う場をつくる	下関市の施策決定や計画づくりに、意見やアイデアを積極的に提案する	市民活動へ積極的に参加・参画する	活動をひっぱりリーダーを育成する	市政や地域活動情報を積極的に収集する	その他	無回答
全体		1036 100.0%	455 43.9%	372 35.9%	320 30.9%	276 26.6%	225 21.7%	32 3.1%	95 9.2%
年齢別	18～19歳（※ ¹ ）	21 100.0%	14 66.7%	7 33.3%	7 33.3%	5 23.8%	7 33.3%	-	-
	20歳代	119 100.0%	49 41.2%	46 38.7%	43 36.1%	27 22.7%	20 16.8%	3 2.5%	8 6.7%
	30歳代	166 100.0%	72 43.4%	69 41.6%	60 36.1%	36 21.7%	43 25.9%	9 5.4%	10 6.0%
	40歳代	162 100.0%	65 40.1%	74 45.7%	54 33.3%	41 25.3%	42 25.9%	6 3.7%	8 4.9%
	50歳代	181 100.0%	75 41.4%	62 34.3%	50 27.6%	43 23.8%	32 17.7%	10 5.5%	14 7.7%
	60歳代	198 100.0%	104 52.5%	67 33.8%	57 28.8%	59 29.8%	53 26.8%	2 1.0%	15 7.6%
	70歳以上	180 100.0%	72 40.0%	41 22.8%	44 24.4%	62 34.4%	25 13.9%	2 1.1%	40 22.2%
市民活動参加経験・今後の参加意向別	①参加したことがあり、今後も参加したい	239 100.0%	113 47.3%	101 42.3%	116 48.5%	86 36.0%	64 26.8%	7 2.9%	6 2.5%
	②参加したことはあるが、今後は参加するつもりはない	53 100.0%	19 35.8%	19 35.8%	11 20.8%	10 18.9%	15 28.3%	6 11.3%	4 7.5%
	③参加したことはないが、今後機会があれば参加したい	432 100.0%	206 47.7%	175 40.5%	156 36.1%	113 26.2%	97 22.5%	6 1.4%	20 4.6%
	④参加したことはなく、今後は参加するつもりはない	273 100.0%	111 40.7%	65 23.8%	28 10.3%	57 20.9%	45 16.5%	12 4.4%	50 18.3%
市民の市政参画への認識（重要度）別（※ ² ）	重要と認識	640 100.0%	301 47.0%	278 43.4%	247 38.6%	184 28.8%	156 24.4%	12 1.9%	31 4.8%
	どちらともいえない	336 100.0%	133 39.6%	80 23.8%	66 19.6%	76 22.6%	62 18.5%	14 4.2%	50 14.9%
	重要でないと認識	38 100.0%	16 42.1%	10 26.3%	6 15.8%	12 31.6%	5 13.2%	5 13.2%	1 2.6%

（※¹）サンプル数が少ない「18～19歳」については参考として掲載している。

（※²）「市民の市政参画への認識（重要度）別の回答結果及び分類は、問 5（16 ページ）に記載している。

8. 自由記述について

(問 17) 下関市における市民協働や市民活動の推進について、ご意見などをご自由にご記入ください。

自由記述について、「市民協働参画に関わるもの」に分類されるものが 65 件、「上記以外の市に対する意見」が 46 件、「その他」が 20 件となっている。

また、「市民協働参画に関わるもの」を意見の内容で分類すると、「市民活動への参加について」が 24 件と最も多く、ついで「市民活動の周知について」(19 件)、「アンケートについて」(8 件)となっている。

大分類 (自由記述全体)	件数
(1) 市民協働参画に関わるもの	65
(2) 上記以外の市に対する意見	46
(3) その他	20
合計	131

(1) 市民協働参画に関わるもの

市民協働参画に関わる意見について、意見を分類し、その内容を下表にまとめた。

小分類 (市民協働参画に関わるもの)	件数
① 市政に対しての意見	6
② 協働の推進について	3
③ 市の職員について	2
④ 市民活動への参加について	24
⑤ 市民活動の周知について	19
⑥ 活動場所について	3
⑦ アンケートについて	8
合計	65

① 市政に対しての意見

番号	意見
1	老若男女に関係なく、誰でも参加できる機会を増やし、市民からの案や要望によって、実現できる行政・市になっていけるように、膠着させない取り組みを期待。(男性 30 歳代)
2	お年寄よりも若い(10 代 - 20 代)への支援を充実させてほしい。(例えば、若い子が喜ぶ施設作りなど)(女性 18 ~ 19 歳)
3	若い人の多くは、市民活動に参加するには金銭的余裕や時間的余裕がないように思います。参加したくても、年齢の近い人間(話しやすい人間)が少ないと感じて、足踏みしている人もいるのではないのでしょうか。若者の参加、参画をうながすなら、何か分かりやすいメリットがあると良いと思います。(金銭ではなく、何かしらのサービスなど?) また、市民協働と言われると非常に荷が重く聞こえます。施策、事業、活動、提供場所などの、もっと分かりやすい紹介・若者の興味をそそる市民活動(参加のしやすさ、人間関係のわずらわしさのなさなど重要とします)(女性 20 歳代)
4	市がこのようなことについてがんばってくださることに感謝しています。今は、子育てなどでダタバタですが、いずれお役に立てたらと思っています。(女性 40 歳代)
5	不十分であり、これからだと思う。行政・市民がまずははじめによく話し合うことからスタートして欲しい、市民の声をしっかり聞いて欲しい(少数意見でも)。人権をふまえ、公平な判断基準をもってほしい。(女性 60 歳代)
6	子育て中の母でも参加できるようシステムを作ってほしい。(性別不明 30 歳代)

②協働の推進について

番号	意見
1	これまで意識してなかったの、これからはもう少し気にかげようと思った。市民の意見がどう反映されたか、何をどう変えたのか、ということをもっと簡単に目に入るような仕組みを作ってほしいと思います。(男性 40 歳代)
2	市民と行政がよきパートナーと成りうる為にも行政にとって都合の悪い情報も積極的に発信してほしい。(男性 60 歳代)
3	いよいよ、各地域にまちづくり協議会が設立され、住民自治によるまちづくりがスタートする。実効あるまちづくりを推進するには、自助、共助の意識転換と、その醸成が欠かせない。その一つが、一人ひとりの市民活動への参画意識である。少子高齢化の現在、各地域の公共施設の稼働率の低下がある。特に小学校の休校や廃校の放置は情けない。市民活動の拠点として有効利用したいものである。(男性 70 歳以上)

③市の職員について

番号	意見
1	まず市役所勤務の人々から市民活動に参加したいかしないかのアンケートを取りその結果を公開して欲しいと思います。市で行う行事、市民活動は市役所の人々を中心になる事が多い訳ですから、市役所の人々が卒先して参加しなければ市民の人々もついてこないと思います。市役所の中で市民活動に参加していただける人々に対してきちんとした対応、リーダーシップ、指導ができる人を多く育てて頂きたいと思います。期待しております。がんばってください。(男性 30 歳以上)
2	このアンケートを拝見して思うことは、下関市民だけの意識改革だけでなく、やはり、下関市長をはじめ、市議員、行政機関の職員が、市民と共に一体感を持った、魅力ある市民活動を推進し、継続することによって、より魅力のある人づくり、地域づくりが、構築されるのではないのでしょうか。(性別不明 50 歳以上)

④市民活動への参加について

番号	意見
1	例えば、小さな村で村民と長が協働し、村を作っていくことは簡単なことであるが、県下中核都市の下関市で市民と行政が協働することは非常に難しい。その理由として、①市民の経済活動の多様化により、勤務時間が不規則であること。②市民活動に参加するメリットがないこと。③ポリティカル・アパシー(政治的無関心)が挙げられる。市の長や、議会委員は、選挙で選出されている。従って、市民の民意を代表し、市政を行っていくのは、これらの方々であり、市政を行っていくうちに市民の反論が高まれば、市民行政参加(リコール)等を実施させればよいのであって、市民個々の意見を市政に反映させる必要はないはずである。他力本願ではあるが、市民が求めているのは、リーダーシップのある市政、他中核都市と張り合えり市政であると考えて。(男性 20 歳代)
2	ネットでの参加ができれば子育てで時間的に制約を受ける世帯も参加しやすくなり理想的。(男性 40 歳代)
3	子供(中学2年)が、クラブ活動等で、手がかかっているが、終われば積極的に地域活動に参加したいと思っている。その為に、今のうちから、情報を得て、自分に何が出来るかを探してみたいと思っている。自分の暮らしている地域活動に参加する事により、より豊かな気持ちで、生活出来ると思う。(男性 40 歳代)
4	そうは言っても個人社会、個人情報保護等の問題から、今後はもっと「協働」しにくい社会となっていくのではないか。やはりコミュニティの基礎となる自治会活動が基本だとは思ふ。いろいろ遠くの人達の集まりで何かやるにも難しいのではないか。日々、近所のコミュニティ自体がなくなりつつある現代においてはそれは希望的な意見なのかもしれない。本当は皆、何かと交流のある社会がいいと思ってるのではないか。今後の下関はもっと高齢化が進んでいくものと思われるのでできれば、老後に何も他人との接点がないような社会コミュニティにはしたくないので、そのようにならないように、市政及び市民が行動していくことが大事なのだと思う。(男性 40 歳代)
5	私は市政や地域の問題等は市会議員さんと話をしていた。今後は個人ではなく町内会でいろいろな分野に参画出来る様にしたらどうですか。(男性 60 歳代)
6	市民活動の推進について、下関市は2005年の合併に伴い、大きな面積を有する下関市となりました。以前の市・各町には、色々なサークルが活動されていたと思います。各サークルでは、色々な目標をもって活動していると思いますが、人数・費用等にて大きな活動が出来ないサークルも多数あると思います。各地域の小さなサークルを、同じ活動目標を持ったサークルを集め協働活動組織化することにより、より大きな組織(下関市全体組織として)活動を行うことができ、大きな成果が得られると考えます。また、市民へ活動予定の案内及び公募により、参加者の増加へ繋がると考えます。実施結果についても公表が必要と考えます。…毎日曜日テレビにて「しものせき」の行事が放送されている様に…高齢化社会への取り組み、過疎化対策について、これからの下関を住みやすい町(農村・漁村部を含む)にするために、私たち市民が助け合う必要があります。市政が種々の課題点へ取り組み、推進・支援をしていく必要があると考えます。(男性 60 歳代)
7	若年層の方の積極リードを期待したい。(男性 70 歳以上)
8	子供にとって意味のある市民活動をもっとやってほしい(例えば、「にじいろキッズ」など)。子育てする人たちの悩み相談会を実施するなど。若者の健康にもっと気を配ってほしい。無料でできる検査を増やしてほしい。(女性 30 歳代)

番号	意見
9	参加や参画をするのは大切と思いますが多くの家庭の方は仕事や日々の生活に追われ余裕がないのが現状だと思います。参加しやすくなる様、職場(会社)全体の活動(勤務時間内)として出来れば推進になるのでは？(女性 30 歳代)
10	日中、仕事中の為今後の参加には、出来そうもありません。(女性 50 歳代)
11	市民活動の推進には、大いに賛成又は参加したいと思いますが、今は職場の往復で、精一杯！というところが本音です。2~3 年はこの生活を維持したいと思い自身の健康状態を良い方向に持っていけるように努力するのみです。日曜日、祝・祭日に参加できる様な健康教室とか、健康相談とか、実施していただけたら、合わせます。(本編の意図にはずれませんでしたでしょうか？)(女性 60 歳代)
12	主婦であり、孫をあずかる祖母として、あまり時間がなく、市民活動をさけてきたのですが、時間的にゆとりができれば、自分の趣味などを通して参加できればと思います。子育てのあと、老いた親たちの看護や孫達の守り(娘夫婦の共働きのため)、そのあとには自分の体がだんだん老いていくという現実です。でも、趣味の押し花は、時間の合い間に続けてきました。いつか、役立てればと思っています。(女性 60 歳代)
13	例えば市報等で講習や講座、イベント等が載っていても、そのほとんどが平日の勤務時間帯であって勤めを持っている者は参加出来ない。(女性 60 歳代)
14	今まで関心をもって参加を考えた事がなかったけれど、このアンケートを機会に、何か参加してみたいと思いました。市報等を熱心に目を通していれば、どこで活動されているか、わかるのかも知れませんが、分野、活動、活動場所、参加方法等、一覧になったものを配布されたらと思いました。(女性 60 歳代)
15	皆、参同出来る様に持って行ってほしいです。時間や行動が仲々ないのと暇がありません。介護人を連れているので。(女性 70 歳以上)
16	若い人にもわかりやすく、参加しやすいような市民活動を作っていかないと今、参加しない人は参加しづらい(年輩の方が多い?)ような感じがしているんだと思います。(性別不明 20 歳代)
17	職場ごとの参加も考えられる。参画しやすいのでは。(性別不明 30 歳代)
18	市民活動が、これからもっと進んでいくことが、重要だと思いました。(性別不明 40 歳代)
19	「協働」、「活動」と言った言葉にはとっつきにくさを感じる人もいます。気軽に、ちょっとしたことからまちづくりに参加出来る、あるいは参加したと感ずることが出来れば、もっと広がるように思います。自分自身は、地元の海や山の保全に少しでも参加してみたいと思います。(性別不明 40 歳代)
20	市民活動の必要性について、もっと市民に支援協力が出来るような指導者等を育成していけばよいと思う。(性別不明 60 歳代)
21	現状自分の仕事でいっぱい、この度のアンケートで参画できていないことを反省させられました。(性別不明 60 歳代)
22	若い時は気持がありました。退職し年をとり体力的に活動出来ません。(性別不明 70 歳以上)
23	障害者(人工膝関節)高齢のため市民市政に参加にできないので市政の方でしっかり活動して下さい。(性別不明 70 歳以上)
24	市民として知っておくべきことだと思いますが、これまで、ほとんど関わることはありませんでした。これまでよりは一歩でも進んだ関わりを持たねばと思っています。(性別不明 70 歳以上)

⑤市民活動の周知について

番号	意見
1	まちづくり団体の社会的評価を高めるべき。(男性 30 歳代)
2	下関市が市民協働や活動の推進に取り組んでいる事を知らない市民が多数いると思うので、もっと周知してもらう努力が必要だと思う。(男性 30 歳代)
3	市報等から情報を得ているがもっと簡単に情報が入る様、職場等への情報配付等して欲しい。それによって休暇が取りやすくなるのではないか。又、学校への情報提供し子供とも参加できる様にしては？部活にボランティア活動の部もあるが活動が少ないように思う。(男性 40 歳代)
4	参画条例が制定されている事すら知らないのですが条例の具体的内容もこの機に知る方法があれば教えて欲しい。(男性 70 歳以上)
5	実際にどの様な活動をしているか具体的に市民の目にふれる様にしてほしい。(女性 20 歳代)
6	市外で通勤・通学している人がそういった活動を知らないと思う。私自身北九州の福祉系の大学に通学しているが、やはり北九州市内のボランティアや市民活動の情報しか入ってこない。(女性 20 歳代)
7	地元ではないため、地域の活動やボランティア活動など情報をどのように収集すれば良いのかわかりませんでした。転入者が気軽に情報を得る事ができる場所があれば参加できる方が増えるかもしれません。又、子供が小さかったり、介護がある方は難しいように思われます。(預けるにも(ヘルパーなど)お金がかかるので)市民も行政に頼るばかりではなく、それぞれが市民である自覚を持てたら良いと思います。(女性 30 歳代)
8	インターネットの社会になりつつありますが、まだまだアナログの方も多と思います。その為、市報などの配布を自治会に入っている人たちだけでなく、全市民のお宅に配布し、情報を共有する必要があると思います。(女性 30 歳代)

番号	意見
9	今回のアンケートで市民協働や市民活動の推進等について初めて考えました。このような活動をもっとみんなの目に触れる場所で広め、見せたいと思います。例えば、イベント、お祭りの際にパネル展などをすればたくさんの方の目につくし、関心を持つ人も増えるのではと思います。「しものせき市民活動センター」は何度か行きましたが、学生がお勉強したり、ただ話したりする場ようになっていて、本来の市民活動拠点施設という役割をしていないように思います(もしかしたら私にそのように見えていただけかもしれませんが…)。せっかく若い方々が来るのなら、市民活動拠点施設としてその方々に何か活動についての意見交換や考える場として指向するような対策・施策をすればいいなと思いました。市民協働や市民活動について考える若い方を増やしたいと思います。それはやはり学校教育に組み込んでいくのが効果的だと思います。市民活動をしている代表者等が自分達の活動を学生さんの前で話すというのはやっているのでしょうか？活動をしている市民も自分達の活動をもっと人に認知してもらい活動の輪を広げていく必要があると思います。(女性 40 歳代)
10	「下関市市民協働参画条例」等、市民活動の種類内容等をもっと市民に伝わるような工夫が必要だと思います。参画したい、興味があると思っている人はたくさんいると思います。自分に何が出来るか、どのように参画できるかがわかりやすいと、積極的に参画しやすいと思います。「市政だより」等で、市民活動団体の紹介をしてみてもどうでしょうか。(女性 50 歳代)
11	何かしたいと思っている人は結構いるように思われますが、様子がわからない、どう行動すればいいかわからない、どこに行けばいいかわからない等、明るく積極的に参加するまでには至っていないように思います。高齢化で自治会等も行動範囲や行動力が薄れています。少しの力でも大きなエネルギーになったらうれしいと思います。(女性 60 歳代)
12	市民一人一人がこうした活動が推進されているということを知る場をもう少し広く提供してもらいたい。(女性 60 歳代)
13	まずいろいろな事を知らない私にとっては市民活動はこんな事をしております…と個別ではなく、全部を公表してほしいと思います。何が市民協働なのか何が市民活動なのか私は今の段階ではわかっておりませんので。(女性 70 歳以上)
14	最近仕事は退職して元気な高齢者がたくさんいらっしゃる様に見受けられます。こういう方たちの豊富な知識や経験を生かして、生き甲斐が持てる様に「市民協働参画条例等を」積極的にPRして周知徹底しては如何でしょうか。立派なリーダーも見つかる可能性もあると思います。(女性 70 歳以上)
15	今回の内容について知らない事ばかりだったので、もっとPRすべきだと思います。(性別不明 30 歳代)
16	情報公開をもっと身近にできると推進していくのではと考えます。例えばコンビニ等で情報が得られると今まで関心のなかった人も手にとる機会となり興味をもつかも。子育て世代においては子供と一緒にいこうもの、子供と別に一、二時間でも見てもらい活動できるのであれば気分転換にもなり、社会から置いていかれているという気持ちもうすれるのでは。(貢献することにより)(性別不明 30 歳代)
17	同上の推進状況・実態を市報などで周知してほしい。(性別不明 70 歳以上)
18	市民協働や市民活動についてのPRを充分に実施。地域密着型の市民活動の推進。市民活動のリーダーの育成・市政に関する情報を詳細に公表する。(性別不明 70 歳以上)
19	市民協働や市民活動の内容を広く市民に知らせること。市民は積極的に参加することが求められる。(性別年齢不明)

⑥活動場所について

番号	意見
1	JR下関前だと車を停めにくいので市民が活動しやすいのは広い場所で無料で車が停められる所がいいと思います。(女性 40 歳代)
2	大きな組織ではなく、地区毎に小さく分けて車とか乗れない人でも近くの集会所を利用して、集まって話ができる所を作ってほしい。これから年をとったら行く所がなくなるので近くで近所の人と気軽にしゃべりができる場所と機会がほしい。(女性 60 歳代)
3	休日など、使っていない公民館・集会所などあれば、園児達の生活発表会などに提供してはどうでしょうか？実際市内ほとんどの園はせますぎる、駐車場がないなどの問題があります。提供するなどして、使用していない建物を減らすなどしては、「イベント」＝「地域」への貢献をして、もう少し下関を盛り上げてほしいです。下関市民活動センターを利用するとしても、駅前、周辺の駐車場代が高いと思います。(性別不明 30 歳代)

⑦アンケートについて

番号	意見
1	100分の1の統計で何ができてくるのか疑問です。他県の委託業者にまかせるべきなのだろうか？担当者2名が下関市在住ならまだ考えとしては良いかもしれませんが。(男性 30歳代)
2	良いアンケートでした。これらの情報について知る良い機会でした。多分私も、これらの活動に協力、参加できる時間や、能力があるので、機会があればと思いました。(男性 30歳代)
3	こういうアンケートではじめて意味とかがよく分かったのもっと発信すべきだし、なにより下関市が好きなのでもっともっとすてきなところにしてほしいです！！(女性 30歳代)
4	参加したくてもできない。意見したくても時間がなく、意見を積極的に出せる訳ではないので、今回のようにアンケートにさせていただけると非常に助かるし、空いた時間に気持ちのゆとりを持って書けるのでいいと思います。これだとみなさん意見もそうだし、参加しやすいのでは。(アンケートに)(女性 30歳代)
5	折角のアンケート用紙を御送付頂きましたが、色々な事に参加したかったのですが、身体不自由な為お役にたてずすみません。身体不自由でも何か出来る事があればと思います。(女性 70歳以上)
6	仕事の都合上、参画する余裕がないので答えづらい。参画、参加するのは難しいので知る機会もない。しかし、アンケート等はできるので、もっと積極的にできるようにしてほしい。※そして、このアンケートの紙の色は文字が見えづらくて困ります。(性別不明 20歳代)
7	引越してきたばかりで全く参加も情報も分からない状況です。子育て(1才、3才)の真最中で、時間もなく、日中は一人で見ているので、正直このアンケートは時間を惜しんで書いてます。(性別不明 30歳代)
8	アンケートを送るのであれば、もう少し情報がほしいです。簡単な説明のみで答えを必要とされても“わかりません”としか答えられません！！(性別不明 50歳代)

(2) 上記以外の市に対する意見

市民協働参画に関わらないが、市に対する意見について、意見を分類し、その内容を下表に抜粋した。

小分類(市民協働参画に関わるもの以外の市に対する意見)	票数
①市政に対しての意見	24
②協働の推進について	2
③市民活動への参加について	4
④市民活動の周知について	7
⑤活動場所について	1
⑥アンケートについて	8
合計	46

①市政に対しての意見について

番号	意見
1	一人一人が意見を言いやすい環境を作るため、全世帯にこの封筒を送ればいいと思う。(男性 20歳代)
2	ゴミ袋が高い。ゴミの分別の手間が多い。市民税が高い。道路沿いのそうじが放置されてる。道路工事が雑すぎる。一部分するだけならしない方がマシ。歩行者道路で障害者のタイル付近に鉄柱が多い。税金かけすぎ(男性 20歳代)
3	季節ごとにもっと大きな祭りを増やしてほしいです。(男性 30歳代)
4	市長の活躍をテレビ等で拝見するがたのしいと思う。もっと下関の良さを全国的にアピールしてもらいたい。(男性 50歳代)
5	歴史の街を全面に出して、海峡をより一層アピール出来る“町づくり”を進めて行けるリーダーを作り上げて下さい。(男性 50歳代)
6	私は、「山口観光案内人検定」に合格しました。市内には、いろいろな資格を持っている人が、たくさんいます。それを使うのも、市の仕事ではないですか？(男性 50歳代)
7	駅周辺の整備は良い事だが、する事が中途半端。特に駅ビル。若者向けの娯楽やショッピングモールが少ない。(女性 20歳代)
8	“まちづくり”に関して、気になる点があります。昨年唐戸にできた“からっと横丁”や先日そのとなりあたりの場所は緑化計画で公園などにすべきだったと思います。下関には下関の良さがあります。その良さを生かした街づくりをすべきです。派手でなくても良いんです。市民みんなが心が落ち着けて、外から来た人も心がなごむような、そんなやさしいまちにしてほしいです。(女性 30歳代)

番号	意見
9	人々が助けあって住める町、安心して子供を育てられ、高齢者が安心して住める町、あたたかな町になる様な活動を希望します。(女性 30 歳代)
10	福岡の糸島のように、古民家などでカフェの街にしたり、素敵なホテルを誘致して作り宿泊を可能にしたり。他にも売りを作っては？若い人たちは福岡県に遊びに行きます。若い人たちの目を下関に戻せるような市民活動が増えたらいいと思います。(女性 30 歳代)
11	表面的に制度等を整えても中身が伴わなければ何もならないと思う。(女性 40 歳代)
12	高齢者の方のことを考えて町内の人と市の方との協力で家庭訪問して把握する必要があると思います。(女性 40 歳代)
13	30～40 代の子育て世代の方へ、ゆとりのある生活ができるようにしてほしい。(女性 40 歳代)
14	一般市民と行政の考え(方針)が、乖離しているように思える。(女性 40 歳代)
15	土地柄や歴史、自然なども取り込んだ素敵な街になってくれること、日本一、と言えるような商業都市に発展してくれることを願ってやみません。(女性 40 歳代)
16	新下関駅付近に、図書館がない事が、とても不満です。(女性 50 歳代)
17	地元の企業を利用し、地元を大切にしてほしいと思います。地元にお金を落として下さい。(女性 50 歳代)
18	自分勝手、自分の事しか考えずルールも無視する様な若者が多すぎる(特に主婦)。ゴミ集収等も、排出する人の責任を明確にさせる(名前を書かせるなど)実行してほしい。ゴミステーションの見廻りも大切です。(女性 70 歳以上)
19	助成金等で離島の住民が生活しやすい環境を作ってもらいたい。(性別不明 20 歳代)
20	自転車の撤去によって道(歩道)がとても歩きやすく、自転車も走らせやすくなりました。(性別不明 30 歳代)
21	市民税が高すぎる。観覧車など中途半端な物を作り、あれではメンテナンス等で市民税の無駄遣いではないか。なぜ収益のあがる計画をしないのか。もっと有意義な物に税金を使ってくれ。(性別不明 50 歳代)
22	下関市は山口県内でも大きい市だと思うが文化的なものへの助成金が少ないのか、他の市と比較しても遅れているように思う。(性別不明 60 歳代)
23	市民館以外に文化活動をする場所がないのではないか。(性別不明 70 歳以上)
24	シーモール付近の歩道橋は必要だったのでしょうか。山口県全体に言える事です。あまりセンスが無いと思います。人が行きたいと思う魅力がある場所が少ないと思います。(性別不明 70 歳以上)

②協働の推進について

番号	意見
1	格差社会の今だからこそ、市民参加の協働、推進は急務だと思います。格差社会→それぞれの階級で別々の生活を送るのではなく、格差のある社会であっても、一人一人が満足してお互い信じ合って、信頼し合って共に生きていけるそういったコミュニティ(今孤独死問題、失業保険とかとはまた別の意味でのセーフティネットになるのではないのでしょうか?)作りを市民一人一人、個人レベルで作っていきけるような、下関市であって欲しいと思います。(男性 30 歳代)
2	下関には市立大学をはじめ大学が数校ありますが、私はここで学ぶ学生たちや市内の意欲ある若者に期待しています。今回のアンケートで NPO 法人が数多くあることに驚きましたが、その多くはどちらかといえば中高年が主体になっているのではないのでしょうか。若い人のアイデアを取り入れる場をもっと作って欲しいと思います。市内には長く空き店舗のままになっている所がたくさんあります。そういう場をやる気のある若者が活躍できる場にして、チャレンジを応援してみてもどうでしょう。認知症に関わるボランティアを通して感じた事ですが、小学校の空き教室などにお年寄りの集まるカフェのようなものでも作れば、放課後の子供たちも安心して過ごせ、お年寄りも子供たちに元気をもらって生きがいを感じることができるのではと思います。協働とか共同参画とか難しく構えず、市政・行政の方も市民や家族の一員として、身近な方の意見に耳を傾け、よい町を作ろうとする姿勢があれば、自ずとよい町になっていくものだと思います。(年齢不明 50 歳代)

③市民活動への参加について

番号	意見
1	自分の生活にゆとりがないとそれ以外の事に、目が行かないし、何かに参加するとかもできないというのも事実です。立派な建物や、コミニティースペースも良いですけどそういう箱物とかよりも、もっともっと市民一人一人に実感できる活動とか、目に見える形での協働による結果みたいなものがあるといいですね。(女性 20 歳代)
2	市民活動までする時間や余裕はないです。(女性 30 歳代)
3	PTAの活動で参加する機会がありましたが、子供が卒業すると、声をかけてくれる人がいなくなかなか関わる事が難しくなります。皆役に立ちたい気持ちがあっても、飛び込んで行くほどのエネルギーはないようです。活動に参加出来る情報が入り、お手伝い出来る事があれば知人と一緒に楽しんで続けられそうです。(女性 50 歳代)

番号	意見
4	何かをしたいとは思っていても今はまだ介護、仕事、等があり自由に動けない。しかし、興味(料理、製作(裁縫)(日用大工)ボランティアガイドなど)はともあるし勉強する場を与えてもらえれば一念発起で頑張ってもみたい。結果時間や日にち(曜日)が合わずあきらめる方が多し。誘われれば参加してみよう、という機会も多く、でなかったら自らすすんではない。そのためには参加すればこんな結果や楽しみがある。参加すれば市民の方にこんなメリットがあり広げられる等の答え(?)がわかれば、そして公開されれば自分が知らず知らずのうちに皆の役に立っている感を感じられれば心も満たされる。(女性 50 歳代)

④市民活動の周知について

番号	意見
1	市民活動をすることについて自分が勤めている職場での理解がほしいのもっと行政職員が活動の重要性を広めていってほしい。(男性 20 歳代)
2	市民の皆が興味や関心を持てば、参加してくれると思います。中学校や高校、また小学校でも、「こういったものがあるよ」と、参加を促してみるのも良いかもしれません。(女性 18~19 歳)
3	毎月1回か2回集合所でお茶のみ会、絵本貸し出しや、季節ごとに作成。昔ながらのものは若い方も知らないから教えてもらうことでたのしみもできよかったですのでは？そういった事からでもやれば、地域もかわるとおもうので他の地域もやってほしいです。(女性 30 歳代)
4	市民協働や市民活動について、具体的に知らずに申し訳なかったです。(女性 40 歳代)
5	活動内容がわからない。(女性 60 歳代)
6	残念ながら、毎日の生活に追われ、「市民協働」「参画」と言葉を並べられても関心が無かったのが実状です。関心が持てる様な周知法を考えていただければと存じます。(女性 60 歳代)
7	活動の場所、内容について早目に情報を流してほしい。情報の出し方が遅い。市の職員は市民サービスに徹すると云う心構えが必要です。(性別不明 60 歳代)

⑤活動場所について

番号	意見
1	市民活動センターも公共交通利用でも車利用でも周辺郡部の者ももっと利用しやすい場所がよい。(駐車場確保)(女性 60 歳代)

⑥アンケートについて

番号	意見
1	なぜ市民が積極的に役所に協力していかなければならないのか大いに疑問に思った。(男性 60 歳代)
2	現在の市行政のあり方や議会の役割について疑問をもっている。その根幹が議論されていないで、市民協働についての意見を求められても、という感想である。市の財政は赤字であり、市政を根底から再構築する姿勢が、市民も必要であり、その構想を協議すべきではないだろうか？その上で、市民活動についても、その目標に向けて1つ1つ推進すべきではないだろうか？(男性 60 歳代)
3	このようなアンケートを行っても市民の意見は反映されることはないので、お金がかかることは必要ないと思います。(女性 30 歳代)
4	形式的なアンケートで終わり、政策に有益な意思決定をもたらさないのでは、時間費用のムダであると思います。(性別不明 20 歳代)
5	とても難しい調査でした。(性別不明 40 歳代)
6	この程度のアンケートを取って何かの役に立つとは思われません。(性別不明 60 歳代)
7	市民活動したいとか自分が何も出来ない状況なので答が書けずすみません。(性別不明 60 歳代)
8	市民にばかり求めないで、もっと職員全体の意識向上をまず改革すべきだと思う。このアンケートの費用もムダではないか？と思う。(性別不明 70 歳以上)

(3) その他

その他の記述については省略。